

# 令和2年度 事業報告書 決算書



3.11 復興の灯 In おおまち R3.3.11

(大町市総合福祉センター 中庭)



社会福祉法人 大町市社会福祉協議会



令和2年度  
事業報告書

社会福祉法人 大町市社会福祉協議会

# 目次

## ■ 主な会議・行事等 .....(P1)

## ■ 寄付採納 .....(P4)

## ■ 主要事業の実績

### I 地域福祉推進基盤の強化

#### 1. 法人運営基盤の強化 .....(P6)

- (1) 法人運営事業
- (2) 資産管理・退職共済・処遇改善事業
- (3) 災害時支援体制の強化

#### 2. 地域福祉活動の財源確保 .....(P11)

- (1) 会員組織強化事業
- (2) 赤い羽根共同募金運動推進事業

#### 3. 公益事業の推進 .....(P14)

### II お互いさまのまちづくり

#### 1. 地域における支え合い活動の推進 (P17)

- (1) 地域ふれあい交流事業
- (2) 住民支え合いマップ事業
- (3) 小地域福祉ネットワーク事業
- (4) 地区社協事業
- (5) 市民ふれあい広場の開催

#### 2. ボランティア活動の推進 .....(P20)

- (1) ボランティアセンター運営事業
- (2) 有償ボランティア事業

### III 安心して暮らせるまちづくり

#### 1. 生活支援活動の推進 .....(P23)

- (1) 心配ごと相談事業
- (2) 福祉輸送サービス事業
- (3) 日常生活自立支援事業
- (4) 成年後見支援センター事業
- (5) 豊かな暮らし応援事業

#### 2. 高齢者福祉活動の推進 .....(P29)

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 訪問介護事業
- (3) 訪問入浴介護事業
- (4) 通所介護事業
- 【1】デイサービスセンターひなたぼっこ
- 【2】デイサービスセンターこすもす

#### 【3】デイサービスセンターみさか

#### 【4】デイサービスセンターみあさ

#### 3. 障がい者福祉の推進 .....(P35)

- (1) 障がい理解促進事業
- (2) 障がい者余暇活動支援事業
- (3) 障がい者就労支援事業
- (4) 地域生活支援事業
- 【1】障害福祉サービス計画支援事業
- 【2】大北圏域障害者相談支援事業
- 【3】発達障がいサポート・マネージャー事業
- 【4】障害者地域活動支援センター事業
- 【5】障がい者等生活支援事業
- ① 移動支援サービス
- ② 日中一時支援事業
- (5) 障がい福祉サービス事業
- 【1】障がい者居宅介護事業
- 【2】多機能型障害福祉サービス事業

#### 4. 子育て支援活動の推進 .....(P42)

- (1) 子育て応援ネットワーク事業
- (2) 育児支援ヘルパー派遣事業
- (3) 療育支援事業

#### 5. 経済的支援活動の推進 .....(P44)

- (1) 生活困窮者等自立支援事業
- (2) 家計改善支援事業
- (3) 資金貸付事業
- (4) 災害見舞金等支給事業

### IV 受け継がれるまちづくり

#### 1. 地域における福祉意識の啓発 ..(P48)

- (1) 福祉情報発信事業
- (2) 地域福祉意識啓発事業

#### 2. 地域の担い手育成 .....(P50)

- (1) 福祉教育推進事業
- (2) 生活支援体制整備推進事業

#### 3. 地域福祉活動団体の育成 .....(P52)

- (1) 企業ボランティア育成事業
- (2) 地域福祉活動団体育成事業

## ■ 主な会議・行事等

期 日	内 容	会 場
4月1日	辞令交付式（会長・常務理事）	総合福祉センター
7日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
13日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
21日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
24日	大北社会福祉事業協会理事会（書面決議）	
27日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
5月11日	市人権教育推進協議会総会（海川副会長） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	市役所 総合福祉センター
19日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
22日	大北社会福祉事業協会理事会（会長）	北アルプス市町村会館
25日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
26日	令和元年度社協事業決算監査（常務理事）	総合福祉センター
27日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
28日	民生委員推薦会（会長）	市役所
6月4日	大町アルプスマラソン実行委員会（会長）	市役所
8日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
11日	市民生児童委員協議会役員会（常務理事）	市役所
12日	理事会・三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
17日	大北圏域介護保険事業者連絡協議会理事会（会長）	総合福祉センター
19日	評議員選任・解任委員会（書面決議）	
22日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
23日	市民ふれあい広場実行委員会幹事会（会長・常務理事）	総合福祉センター
24日	市行政改革推進委員会（会長） 中信社会福祉協会定時評議員会（書面決議）	市役所
25日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
29日	市社会福祉協議会評議員会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
30日	市文化会館運営委員会（会長）	サン・アルプス大町
7月2日	市青少年育成市民会議常任理事会（会長）	サン・アルプス大町
6日	共同募金審査委員会（会長・海川副会長）	総合福祉センター
13日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
14日	市行政改革推進委員会（会長）	市役所
15日	産業医職場巡視（常務理事）	八坂総合福祉センター
20日	民生委員推薦会（会長） 大北地域包括医療協議会総会（書面決議）	市役所
21日	市長との懇談会（会長・常務理事） 県社会福祉協議会評議員会（会長）	市役所 県社会福祉総合センター
22日	民生児童委員協議会全体会（会長・常務理事）	サン・アルプス大町
27日	北アルプス国際芸術祭実行委員会総会（会長） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	市役所 総合福祉センター
30日	人権教育実践カススキルアップ講座（海川副会長） 所属長会議（常務理事）	松本合庁 総合福祉センター
8月5日	市健康づくり推進委員会（会長）	保健センター
6日	産業医職場巡視（常務理事） 民生委員推薦会（会長）	美麻総合福祉センター 市役所

期 日	内 容	会 場
8月7日	松本糸魚川連絡道路説明会（常務理事）	大町合庁
11日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
17日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事） 市子ども・子育て審議会（会長）	総合福祉センター 市役所
21日	北アルプス国際芸術祭実行委員会臨時総会（会長）	市役所
25日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
28日	人権を考える市民の集い（海川副会長） 安全運転管理者講習	八坂小学校 サン・アルプス大町
29日	職員参集訓練・研修会（会長・常務理事）	総合福祉センター
31日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
9月1日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
8日	人権教育実践力スキルアップ講座②（海川副会長）	常盤公民館・すすの音ホール
9日	人権を考える市民の集い（海川副会長）	美麻小中学校
14日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
28日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
29日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
30日	理事会（正副会長・常務理事） 産業医職場巡視（常務理事）	総合福祉センター ひなたぼっこ
10月6日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
7日	大北地域介護保険事業者連絡協議会理事会（会長）	総合福祉センター
8日	人権教育実践力スキルアップ講座（海川副会長）	貞享義民記念館
12日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事） 「人権を考える市民の集い」（海川副会長）	総合福祉センター 大町南小学校
14日	産業医職場巡視（常務理事） 人権教育推進協議会等「合同視察研修会」（海川副会長）	総合福祉センター 松本市歴史の里ほか
16日	国際芸術祭実行委員会臨時総会（会長）	市役所
26日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
27日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
29日	市保育所等のあり方検討委員会（会長）	市役所
30日	民生委員推薦会（会長）	市役所
11月2日	令和3年度補助受託事業予算ヒアリング（正副会長・常務理事） 三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター 総合福祉センター
3日	信州ふっころフェスティバル（オンライン）（北沢副会長）	総合福祉センター
9日	心配ごと・司法書士相談（常務理事） 人権を考える市民の集い（海川副会長）	総合福祉センター 大町東小学校
10日	市戦没者追悼式（会長）	大町公民館分室
11日	市総合計画審議会（会長） 学校人権教育「公開授業・懇談会」（海川副会長） 産業医職場巡視（常務理事）	市役所 第一中学校 八坂総合福祉センター
16日	中信社会福祉協会評議員会（会長） シニア世代人材活用セミナー（常務理事）	松本市梓川支所 中心市街地多目的ホール
20日	年金委員・健康保険委員合同研修会（常務理事）	松本市中央公民館
24日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
27日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
30日	人権・同和教育推進懇談会事業 「映画会および講話」研修会（海川副会長）	常盤公民館

期 日	内 容	会 場
12月2日	危機管理セミナー（常務理事）	サンアルプス大町
7日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
8日	三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
14日	大北ブロックボランティア地域活動フォーラム （会長・常務理事）	総合福祉センター
15日	市保育所等のあり方検討委員会（会長）	市役所
16日	産業医職場巡視（常務理事） 理事会（正副会長・常務理事）	美麻総合福祉センター 総合福祉センター
18日	市老人クラブ連合会寄付（会長）	総合福祉センター
21日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
22日	生活就労支援センター大北地域連絡会議（常務理事）	北アルプス市町村会館
23日	所属長会議（常務理事）	総合福祉センター
24日	第2回評議員会（正副会長・常務理事） 市総合計画審議会（会長） 市女性団体連絡協議会寄付（会長）	総合福祉センター 市役所 総合福祉センター
28日	仕事納めの式（会長・常務理事） 被災宅お見舞い（会長）	総合福祉センター 被災宅
1月4日	仕事始めの式（会長・常務理事）	総合福祉センター
8日	鹿島荘からまゆ玉贈呈（会長）	総合福祉センター
12日	令和3年度予算ヒアリング（正副会長・常務理事） 職員選考・面接試験（正副会長・常務理事） 三役会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター 総合福祉センター 総合福祉センター
13日	産業医職場巡視（常務理事）	ひなたぼっこ
14日	社会福祉協議会トップセミナー（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
18日	市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画検討委員会（会長） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	市役所 総合福祉センター
19日	市行政改革推進委員会（会長）	市役所
25日	市社会福祉審議会（会長）	市役所
26日	所属長会議（常務理事） 市総合計画審議会（会長）	総合福祉センター 市役所
27日	中信社会福祉協会評議員会（会長）	梓川支所
29日	民生委員推薦会（会長）	市役所
2月3日	北安醸造甘酒寄贈（会長）	大町市役所
8日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
9日	三役会（正副会長・常務理事） 大北社会福祉事業協会理事会（会長）	総合福祉センター 北アルプス市町村会館
10日	産業医職場巡視（常務理事） 市保育所等のあり方検討委員会（会長） 北アルプス国際芸術祭実行委員会臨時総会（会長）	総合福祉センター 大町市役所 大町市役所
12日	市社会福祉審議会（会長） 大町商工会議所女性会フードドライブ寄贈（会長）	大町市役所 総合福祉センター
19日	大北社会福祉事業協会評議員会（会長） 市青少年育成市民会議常任理事会（会長）	北アルプス市町村会館 大町市役所
22日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	総合福祉センター
24日	所属長会議 13:30（常務理事）	総合福祉センター
27日	社会福祉功労者・福祉啓発標語入選者表彰式（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
3月3日	昭和電工(株)大町事業所寄付（会長）	総合福祉センター

期 日	内 容	会 場
3月4日	東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー大町市実行委員会（会長） 市総合計画審議会（会長）	大町市役所 大町市役所
8日	心配ごと相談・司法書士相談（常務理事） 市国保運営協議会（会長）	総合福祉センター 大町市役所
9日	三役会（正副会長・常務理事） 市共同募金委員会審査委員会（会長）	総合福祉センター 総合福祉センター
16日	市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画検討委員会（会長）	大町市役所
18日	市社会福祉審議会（会長） 市都市計画審議会（会長）	大町市役所 大町市役所
19日	市社協理事会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター
22日	市社会福祉審議会答申（会長） 心配ごと相談・司法書士相談（常務理事）	大町市役所 総合福祉センター
23日	保育所等のあり方検討委員会（会長） 所属長会議（常務理事）	大町市役所 総合福祉センター
25日	県社協評議員会（会長）（書面議決） 中信社会福祉協会 評議員会（会長）	梓川支所
26日	民生委員推薦会（会長）	大町市役所
30日	市社協評議員会（正副会長・常務理事）	総合福祉センター

## ■ 寄付採納

### ① 寄付者一覧（寄付金）

寄せられた寄付金は、ボランティア基金に積立て、ボランティアセンター運営委員会で用途を協議のうえ取崩し、寄付者の意向を尊重しながら有効活用を図っています。

期 日	寄付者（敬称略）	金額（円）
4月16日	匿名	4,992
5月20日	匿名（小銭募金）	1,001
5月27日	匿名（新型コロナウイルス特別給付金）	10,000
7月22日	編み物同好会	10,000
8月27日	元喫茶すまいる有志一同	500,000
9月16日	匿名	10,000
9月23日	匿名	193
10月 6日	匿名	5,023
10月 7日	大町市元市議会議員の会	50,000
11月25日	匿名	45,700
12月17日	よってって鮎貝	7,335
12月18日	大町市老人クラブ連合会	50,000
	匿名	10,000
12月22日	新しい編物サークル	25,000
12月24日	大町市女性団体連絡協議会	8,000
1月 4日	匿名（小銭募金）	5,257
1月21日	シニア大学なでしこ会 31 期生	20,000
2月 1日	匿名	2,000,000
2月12日	匿名	10,000
2月18日	大町公民館分室（ふれあいの箱）	1,308
3月1日	女性健康支援 SANBA の会	200,000
3月3日	昭和電工(株)大町事業所	50,000
合 計		3,023,809



## ② 寄付者一覧（物品）

寄付物品は本会の事業で活用したほか、食品や消耗品は管内の福祉施設に配布しました。

期 日	寄付者（敬称略）	物 品（数量等）
4月 6日	(有)倉科製粉所	干そば 410 袋
4月 16日	八坂中学校	手作りマスク 77 枚
4月30日	中村至男	衣類多数、固形石鹸 1 箱
5月 1 日	石原スマイルクラブ（石原老人クラブ）	マスク 100 枚
5月27日	保科好昭	「高脂血症を防ぐ食事法」ビデオ 1 本
6月 10日	松井石油店（代表松井渥彦）	マスク 100 枚
6月26日	匿名	玄米 1 俵
6月29日	セブン-イレブン・ジャパン閉店店舗	日用品多数
7月 13日	保科好昭	杖 2 本、スティック 3 本
7月28日	新しい編み物サークル	毛糸座布団 45 枚
8月 7日	保科好昭	竹ホウキ 4 本
8月 8日	匿名	米 15 kg
8月31日	匿名	米 50 kg
9月 2日	匿名	米 30 kg
9月 3日	匿名	米 10 kg
9月 8日	大北地区労働者福祉協議会	米、缶詰、レトルト食品ほか多数
9月14日	匿名	白無垢 2、掛下帯、大振袖、打掛各 1
9月18日	竹内忠直	米 60 kg（海水米、有機米）
9月24日	匿名	Wet&dry クリーナー 1 台
	匿名	瓶詰ほか多数
9月28日	匿名	米 10 kg
10月 1日	匿名	米 40 kg
10月 5日	匿名	米 300 kg
10月13日	JA 大北女性部	缶詰、レトルト食品ほか 124 品
10月14日	大北地区保護司会・大北地区更生保護女性会・大北地区協力雇用主会	米、食品ほか多数
	匿名	米（粳）150 kg
10月30日	秋津利紀	米 20 kg
11月17日	平林要子	手まり多数
11月19日	柳沢滋益	和服多数
12月 2日	信光実業(株)大町支店	2021 カレンダー 29 本
12月 3日	浅川章司	シルバーカー 2 台
12月21日	北沢学	門松 1 対
1月 6日	平林要子	色紙額、短冊色紙額 8 枚
1月 8日	匿名	玄米 20 kg×2 袋
2月 1日	匿名	米 30kg
2月 9日	北安醸造株式会社	甘酒 170 本
2月12日	大町商工会議所女性会	米、缶詰ほか 964 点
2月24日	匿名	白米 54 kg
3月 9日	匿名	玄米 60 kg
3月15日	JA 大北女性部	缶詰、レトルト食品ほか 60 点
3月17日	桜田町自治会	まんぞく豚汁 21 食（非常食）
3月31日	大北地区労働者福祉協議会	インスタント食品他 55 点

## ■ 主要事業の実績

### I 地域福祉推進基盤の強化

地域で活躍する関係者の参加と協働の下、法人運営基盤の強化、地域福祉活動の財源確保、災害時支援体制の強化、公益事業の推進に取り組み、地域福祉推進基盤の強化に努めました。

#### 1. 法人運営基盤の強化

地域福祉を推進する中核組織として、安定した法人運営に努めるとともに、各積立金を活用し、福祉人材の確保、計画的な設備整備等に努めました。

##### (1) 法人運営事業

社会福祉法人制度改革に適切に対応しながら、経営管理・内部統制・働きやすい労働環境の整備に取り組みました。

項 目	実施結果・内容
地域社会の情勢に応じた会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月第2火曜日を基本に三役会を開催</li> <li>○ 毎月第4火曜日を基本に所属長会議を開催</li> <li>○ 理事会を5回(内書面1回)、評議員会を3回開催（詳細別記）</li> <li>○ 評議員選任・解任委員会を2回、書面議決により開催</li> </ul>
経営管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月の所属長会議内で経営戦略会議を開催し、経営状況を把握</li> <li>※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から顧問税理士による経営研修会は中止</li> </ul>
内部統制機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期監査を実施（詳細別記）</li> <li>○ 毎月の所属長会議内で安全衛生委員会を開催（詳細別記）</li> <li>○ 事業報告・決算書、事業計画・予算書をホームページで公開</li> <li>○ 個人情報・特定個人情報保護規程に基づき、情報管理を徹底</li> </ul>
働きやすい魅力的な労働環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 無期契約転換申出への対応 指定様式を作成、所属長会議等へ周知の上希望者への対応を実施</li> <li>○ 働き方関連法への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆所属長に対する関連法に関する周知</li> <li>◆有給休暇取得状況の共有（半期ごと所属長へ公開）</li> <li>◆最低賃金に対応した給与規程（内規）の一部改正</li> </ul> </li> <li>○ 新型コロナウイルス感染拡大防止への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆小学校等休業に対応し、特別休暇を設定</li> <li>◆毎月の安全衛生委員会において、情報共有及び対応策の検討</li> <li>◆感染防止品の備蓄（マスク、消毒液ほか）</li> <li>◆Web会議対応のための環境整備（業務用WiFi環境の整備ほか）</li> <li>◆各種助成金等への申請対応</li> </ul> </li> </ul>
大北地域内の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大北ブロック社協事務局長会議を開催 7月2日（ZOOM会議）</li> <li>○ 大北圏域の事業者との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 大北圏域介護保険事業者連絡協議会の事務局運営</li> <li>◆ 大北保健福祉圏域自立支援協議会の事務局運営</li> </ul> </li> </ul>

● 理事会の開催状況

回数	期 日	内 容	
第1回	5月1日 (書面)	議案	第1号 副会長の選任について 第2号 評議員候補者の推薦について 第3号 評議員選任・解任委員会の招集について
第2回	6月12日	議案	第4号 令和元年度事業報告について 第5号 令和元年度決算について 第6号 評議員候補者の推薦について 第7号 評議員選任・解任委員会の招集について 第8号 令和2年度第1回評議員会(定時評議員会)の招集及び議題について
第3回	9月30日	報告	令和2年度第1四半期事業運営状況報告について 指定管理施設の設備整備に関する提案について 債権の欠損処分に関する要綱の制定について
		協議	災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定について
第4回	12月16日	議案	第9号 令和2年度第1次補正予算の専決処分について 第10号 令和2年度第2回評議員会の招集及び議題について
		報告	令和2年度上半期事業運営状況報告について 令和2年度中間監査報告について
		協議	令和2年度社会福祉功労者表彰者の選考について
第5回	3月19日	議案	第11号 令和2年度第2次補正予算について 第12号 令和3年度事業計画について 第13号 令和3年度予算について 第14号 役員等賠償責任保険契約について 第15号 令和2年度第3回評議員会の招集及び議題について
		報告	給与規程細則(内規)の一部改正について

● 評議員会の開催状況

回数	期 日	内 容	
第1回	6月29日	議案	第1号 令和元年度事業報告について 第2号 令和元年度決算について
第2回	12月24日	議案	第3号 令和2年度第1次補正予算専決処分について
		報告	令和2年度上半期事業運営状況報告について 令和2年度中間監査報告について
第3回	3月30日	議案	第4号 令和2年度第2次補正予算について 第5号 令和3年度事業計画について 第6号 令和3年度予算について
		報告	役員等賠償責任保険契約について

● 定期監査の実施状況

項目	実施日
令和元年度決算監査	5月26日
令和2年度中間監査	11月5日

● 安全衛生委員会の開催状況

期 日	内 容
4月21日	新型コロナウイルス感染症対策について、特別休暇特例措置について
5月27日	産業医職場巡視の計画、職員定期健康診断日程、感染症の対応について
6月25日	産業医の職場巡視、感染症の対応について、熱中症予防について
7月16日（総会）	R1事業報告、R2事業計画、新型コロナウイルス感染症予防について(産業医)
7月30日	夏の交通安全運動、職場事故報告、感染症対応について
8月25日	新型コロナウイルス感染症、ストレスチェック実施要項の変更について
9月29日	感染症対応について、インフルエンザ予防接種について
10月27日	感染症対応について、ストレスチェックについて
11月27日	年末の交通安全運動、交通事故等報告、感染症対応について
12月23日	新型コロナウイルス感染症対応について
1月26日	感染症対応について、通所介護感染予防チェックリスト取りまとめ結果
2月24日	新型コロナウイルス感染症対策について
3月23日	新型コロナウイルス感染症対策について、春の交通安全運動

【評価と展望】

- 昨年度決算の状況も踏まえ、顧問(市長)への決算報告を開催した。
- 新型コロナウイルス感染症への対応として、感染防止品の備蓄のほか、特別休暇の設定など臨機応変に対応した。
- また、それら感染予防に係る経費に対応した、国・県・市の助成金等への申請を実施した

あいさつは なかよくなる あいことば

(大町北小学校1年 堤 柚稀さん)

だいじょうぶ 人がおちつく いい言葉

(大町北小学校5年 丸山 昊輝さん)

令和2年度 福祉啓発標語 最優秀作品

## (2) 資産管理・退職共済・処遇改善事業

各積立金を有効活用し、福祉人材の確保、計画的な設備整備、地域福祉・生活支援活動の財源確保に努めました。

項 目	実施結果・内容
福祉人材の確保 (人件費等積立金取崩：20,598千円)	○ 役職員研修の実施(詳細別記) ……充当額 62千円 ○ 役職員福利厚生事業の実施(内訳別記) ……充当額 2,206千円 ○ 非正規職員の処遇改善補填(詳細別記) ……充当額 2,938千円 ○ 正規職員の退職共済掛金補填 ……充当額 3,208千円 ○ 介護保険・障害福祉サービス事業人件費補填…充当額12,184千円
計画的な設備整備 (施設整備等積立金取崩：14,916千円)	○ PC更新補填額 ……充当額 1,425千円 ○ 特殊浴槽他設備更新補填額 ……充当額 5,989千円 ○ 設備修繕及びリース料金等 ……充当額 7,502千円
地域福祉・生活支援活動の財源確保 (地域福祉活動費積立金取崩：6,578千円)	○ ふれあい福祉センター運営事業財源不足補填 ……充当額 40千円 ○ ボランティアセンター運営事業財源不足補填 ……充当額1,239千円 ○ 日常生活自立支援事業財源不足補填 ……充当額 832千円 ○ 生活困窮者自立支援事業財源不足補填 ……充当額 554千円 ○ 成年後見支援センター事業財源不足補填 ……充当額3,913千円

### ● 役職員研修の実施状況

期 日	内 容	会 場
7月17日	新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン等 及び2021年6月HACCP管理システム講習会	サン・アルプス大町
7月30日	令和2年度第一回災害ボランティアセンター運営 支援者研修	南箕輪村社協
7月31日	新型コロナウイルス感染症対策研修	大町市総合福祉センター
11月9日～10日	令和2年度福祉職員生涯研修	ホリケンター松本
11月2日～ 12月1日～	令和2年度主任介護支援専門員研修	リモート研修
12月4日	全国相談支援ネットワーク研修会	リモート研修

### ● 役職員福利厚生事業費の内訳

(単位：千円)

産業医	健康診断	ストレスチェック	予防接種	制服貸与	共済会補助	慶弔見舞金
300	888	93	387	241	0	297

### ● 定期健康診断等の実施状況

実施方法	個別健診	集団健診	ストレスチェック
対 象 者	35歳以上で健康保険に 加入している職員	週労働時間20時間以上 で、個別健診の対象とな らない職員	所定労働時間が週平均 20時間以上の職員
期 日	10月～3月の指定日	7/31	11月
実施場所	市立大町総合病院	総合福祉センター	松本健診所
受診者数	93人	22人	121人

● 産業医の職場巡視の実績

事業場	総合福祉センター	八坂総合福祉センター	美麻総合福祉センター	デイサービスセンター ひなたぼっこ
期 日	10/14・2/10	7/15・11/11	8/6・12/16	9/30・1/13

● 勤続手当・処遇改善手当の支給実績

名 称	勤続手当	処遇改善手当
算定方法	4月1日現在の勤続年数に応じた月額 (1年：250円、2年：500円、 3年～10年：前年に1,000円を加算、 11年以後前年に500円を加算)	介護報酬及び自立支援給付費の半期ごとの処遇改善加算額を、対象職員の労働時間に応じて配分 介護職員：6月161円・12月191円/時 その他職員：6月41円・12月48円/時
支給対象者	勤続1年以上の嘱託・臨時・非常勤職員	嘱託・臨時・非常勤職員
支給時期	毎 月	6月・12月
支給実績	3,804,710円	19,272,663円

【評価と展望】

- 昨年に続き、デイサービスみあさの特殊浴槽を更新。単発であるが多額の設備整備となり更に計画的な運用の検討が必要。
- 産業医の職場巡視や職員の健康診断、ストレスチェックを定期的実施し、日常からの職員の健康管理や職場環境の整備に努めた。
- 令和元年度末に働き方改革の一環として改正した勤続手当の上限撤廃、また、令和2年度より処遇改善加算Ⅰを取得したことによりそれぞれ人件費を増額となっているが、職員それぞれの働き方に応じた給与体制の一旦が構築できた。

(3) 災害時支援体制の強化

項 目	実施結果・内容
災害時職員初動マニュアルに基づく参集訓練	大田市地震総合防災訓練に合わせ、マニュアルに基づく訓練を実施し、また研修会を開催 ○実施日 8月29日 ○対象者 所属長並びに正規職員 ○内 容 ①参集訓練 初動マニュアルに基づく参集訓練 ②職員安否確認訓練 本年導入した『ビジエネ連絡網』を活用した、一斉送信メールによる安否確認 ②コロナ禍における災害ボランティアセンターの運営研修
災害BCP検討	◆災害福祉かんたんマップ実証実験への参画 県社協主体で開発した災害時マップシステム実証実験への参画 令和3年度より本格的に実証開始となる。

● 義援金の募集・送金状況

募集期間	当年度送金額 (円)	義援金の内容
H28.4.15～R3.3.31	20,799	熊本県地震災害義援金
R1.10.16～R3.3.31	306	令和元年台風19号災害義援金
継続募集中～R3.3.31	2,052	東日本大震災義援金
合 計	23,157	

【評価と展望】

- 職員招集訓練については、年1回ではあるが、継続し行うことにより、社協職員として災害時の対応について意識が育ってきている。
- 災害時に備えた事業継続計画（BCP）の策定に向け、県社協主導の災害福祉あんしんマップ実証実験へ参加し、令和3年度策定に向け検討を進める。

## 2. 地域福祉活動の財源確保

地域内の生活課題に取り組む住民主体の活動を支援するため、必要となる財源の確保に取り組みました。社協会員組織の強化と、赤い羽根共同募金運動を推進しました。

### （1）会員組織強化事業

社協会費の使途を分かりやすく広報し、会員組織の強化を図りました。会費は、ボランティア団体や地区社協・小地域福祉ネットワークの活動助成など、地域福祉の推進に活用しました。

項 目	実施結果・内容
一般会員の募集	○ 一般会員（1世帯当たり年額600円） ◆6,900世帯を目標に、4～5月、自治会長等に納入依頼文・チラシを送付し、協力を依頼
特別会員の募集	○ 特別会員（1人当たり年額3,000円） ◆650人を目標に、7～8月、前年度会員等に納入依頼文・チラシを送付し、民生委員に取りまとめの協力を依頼
法人会員の募集	○法人会員（1団体当たり年額5,000円） ◆新型コロナ拡大防止の観点より、郵送での協力依頼を実施
会員の確保	○「社協おおまち」に一般会員・法人会員募集について掲載 ○「社協おおまち」に特別会員名簿・法人会員名簿を掲載 ○自治会未加入の約800世帯に納入依頼文・社協の活動内容を掲載したチラシを送付し、会員確保に努めた

● 年度別会員別会費集計表（過去5ヵ年）

（金額の単位：円）

年度	一般会員（一般会費）			特別会員（特別会費）			法人会員（法人会費）		
	世帯数	金 額	前年比	人数	金額	前年比	団体	金額	前年比
H28	7,535	4,521,000	99.1%	732	2,196,000	96.4%			
H29	7,384	4,430,400	98.0%	681	2,043,000	93.0%	14	70,000	
H30	7,324	4,394,400	99.1%	652	1,956,000	95.7%	17	85,000	121%
R1	7,180	4,308,000	98.0%	641	1,923,000	98.3%	21	105,000	123%
R2	6,996	4,198,000	97.4%	597	1,793,000	93.2%	23	115,000	109%

### 【評価と展望】

- 法人会員新設し4年が経過する中で、商工会議所等にもご協力いただき、会員を増やすことができてきている。本会の事業内容や運営理念を広報啓発しご理解いただく努力を継続する。
- 市の人口の減少や自治会未加入者の増加、全国的な寄付意識の変化に伴い会費は減少傾向にあるが、引き続き地域に根差した社協事業への理解と周知を図り会員確保に努める。

## (2) 赤い羽根共同募金運動推進事業

共同募金は、都道府県を単位とする共同募金会が実施主体となり、各市町村はその支部組織として活動を行っており、当市も含め大半の市町村では、社協で事務局を担っています。新型コロナウイルス感染症の影響から募金活動も制約がある中、感染予防に努め募金運動を行いました。



項 目	実施結果・内容
前年度募金実績に基づく配分金事業の実施	○6月に配分決定額である 6,870,257円（市社協分を含む）を各地区社協に配分した
目標額の設定と達成に向けた各種募金運動の実施	○新型コロナウイルス感染症への対応 ◆感染症の中での募金活動について大町市としての指針をまとめた ◆そのうえで、地区別に具体的な運動計画を策定し募金運動を実施
募金目標額を達成するための運動	○新型コロナウイルス感染症に対応した募金活動 ◆大口募金について 市内2地区において、感染症の状況やそれゆえの経済状況を勘案し訪問での募金活動を取りやめ郵送での募金活動を実施
公募配分事業	○8団体より申請があり、交付決定を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響より事業実施困難で3団体が交付辞退

### ● 募金実績の推移

(単位：円)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
募金目標額	9,543,000	9,236,000	9,069,000	8,811,000	8,698,000
募金実績額	9,134,658	8,954,888	8,810,431	8,528,257	8,071,664

### ● 令和2年度共同募金配分金の内訳

(単位：円)

配分先		高齢者 福祉活動	障害児・者 福祉活動	児童・青少年 福祉活動	住民全般 福祉活動	合 計
地区社協分	大町地区	486,100	50,000	230,000	520,000	1,286,100
	平地区	150,000	40,000	195,000	551,498	936,498
	常盤地区	436,772	30,000	420,000	400,000	1,286,772
	社地区	265,544	10,000	20,000	150,000	445,544
	八坂地区	209,709	0	30,000	60,000	299,709
	美麻地区	90,000	10,000	30,000	54,420	184,420
	計	1,638,125	140,000	925,000	1,735,918	4,439,043
市社協分		162,000	485,000	0	1,784,214	2,431,214
合 計		1,800,125	625,000	925,000	3,520,132	6,870,257



● 令和2年度市社協配分金事業の実績内訳

(単位:円)

事業名	配分金額	事業名	配分金額
福祉団体助成事業	117,100	福祉輸送サービス事業	294,060
市民ふれあい広場開催事業	0	心配ごと相談事業	72,386
社協報発行事業	1,211,760	災害見舞金等給付事業	55,200
希望の旅事業	0		
合 計			1,750,506

● 福祉団体助成金交付実績

(単位:円)

団体名	助成額	団体名	助成額
大町市老人クラブ連合会	50,000	大町市民生児童委員協議会	2,100
大町市身体障害者福祉協会	辞 退	大町市保護司会	25,000
大町市手をつなぐ育成会	30,000	大町市遺族会	辞 退
大町市子ども会育成連絡協議会	辞 退	大町市更生保護女性会	10,000
合 計			117,100

【評価と展望】

- 新型コロナウイルス感染症への対応により、普段と違った募金活動を実施。結果、目標額こそ到達できなかったが、この状況の中多くの募金協力が得られた。
- 配分事業について、新型コロナウイルス感染症の影響から中止や延期となった事業が多数あり、配分金については次年度へ繰り越す対応をせざるを得ない状況

育てよう けっして散らない 笑顔の花

(八坂中学校3年 森谷 優斗さん)

声かける そこから始まる 助け合い

(大町岳陽高等学校3年 南澤 圭吾さん)

あなたの心のぬくもりが 包む地域の 絆です

(大町 竹村 和幸さん)

令和2年度 福祉啓発標語 最優秀作品

### 3. 公益事業の推進（指定管理施設の管理運営等）

指定管理施設の経営方針「誰もが安心して利用できる地域に根差した良質な施設経営」に従い、総合福祉センター3施設を管理・運営しました。

項 目	実施内容・結果
施設の適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 設備の定期点検・保守点検を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 灯油地下タンク気密試験（大町・八坂・美麻各1回）</li> <li>◆ 防災・防災設備点検（3施設各2回）</li> <li>◆ 電気設備点検（大町・美麻各6回 ※八坂は支所で実施）</li> <li>◆ 給排水・空調設備点検（3施設各2回）</li> <li>◆ 自動ドア点検（3施設各3回）</li> <li>◆ エレベータ点検（大町4回 ※遠隔点検は毎月）</li> </ul> </li> <li>○ 日常清掃（通年）、特殊清掃（大町2回、八坂・美麻各1回）を実施</li> <li>○ 建物・設備の破損・故障に迅速に対応し、計画的に整備（内訳別記）</li> <li>○ 大町市に次年度以降3カ年の整備要望書を提出</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 手指消毒用ポンプの設置</li> <li>◆ マスク着用等感染予防啓発ポスター等の掲示</li> <li>◆ 公衆浴場利用者への記名のお願い</li> <li>◆ 会議室利用者の利用者名簿作成依頼</li> <li>◆ 会議室定員を1/2に制限</li> <li>◆ アクリルパネル等設置</li> </ul> </li> </ul>
利用者ニーズの把握とサービスへの反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大町市総合福祉センター運営懇話会を開催（3月29日） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 前年度利用状況・事故発生状況・施設整備状況の報告</li> <li>◆ 施設の利用促進について ほか</li> </ul> </li> <li>○ 利用者の声（意見箱）や管理日誌で意見・要望を把握し、随時対応</li> <li>○ 自主事業の実施や施設整備等について、市と随時協議</li> </ul>
施設の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年末年始の公衆浴場臨時営業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 12月29日（10:00～17:00 85人）</li> <li>◆ 12月30日（10:00～17:00 82人）</li> <li>◆ 1月3日 （13:00～17:00 59人）</li> </ul> </li> <li>※こどもの日、敬老の日無料開放は新型コロナウイルス感染拡大防止として本年度は中止とした</li> <li>※年始のおしるこ振る舞いは、新型コロナウイルス感染拡大防止として中止とした</li> </ul>
施設サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5～10月第1金曜日に全職員による環境美化・緑化活動を実施</li> <li>○ 館内を禁煙とし、屋外に喫煙所を設置して分煙を徹底</li> <li>○ 前年度繰越金等を財源とした施設整備を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 公衆浴場男女サウナ室壁板等の修繕</li> </ul> </li> <li>○ 専門業者による浴室内部特殊清掃の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 年2回の専門業者による館内特殊清掃に加え、浴室内部の清掃を実施。</li> </ul> </li> </ul>
その他施設の利活用等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エントランスホールの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 子供服等のリユースコーナー「コアラのぽっけ」を常設（平日）</li> <li>◆ 包括支援センター主催「いどばた」開催</li> <li>◆ コットンサロンの開催</li> <li>◆ 3.11復興の灯inおおまち</li> </ul> </li> </ul>

● 各施設の利用状況

施設名	項 目	開設日数	利用実績
大町市総合福祉センター	公衆浴場	310 日	延べ 26,068 人 (84.1 人/日)
	会議室等貸館	359 日	延べ 1,459 団体 (4.1 団体/日) 延べ 9,253 人 (25.8 人/日)
八坂総合福祉センター	デイサービス	257 日	延べ 4,173 人 (16.2 人/日)
美麻総合福祉センター	デイサービス	258 日	延べ 4,918 人 (19.1 人/日)
	会議室等貸館	252 日	延べ 90 団体 (0.4 団体/日) 延べ 583 人 (2.3 人/日)

● 公衆浴場利用状況の推移（大町）

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
一 般 (人)	7,180	6,895	6,098	6,439	4,941
65 歳以上 (人)	20,619	20,479	19,799	20,104	19,007
障がい者 (人)	2,266	2,008	1,697	1,870	1,806
小中学生 (人)	1,137	1,022	834	529	314
優待券等 (人)	104	126	58	0	0
合 計 (人)	31,306	30,530	28,486	28,942	26,068
利用料収入 (千円)	6,665	6,525	6,100	6,278	5,616

● 貸館利用状況の推移（大町）

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
利用件数 (団体)	2,108	1,939	1,894	1,926	1,459
利用人数 (人)	20,938	18,103	17,311	15,774	9,253

● 電気料・燃料費の実績

(単位：千円)

施設	電気料			燃料費		
	R2	R1	増減	R2	R1	増減
大町	5,478	6,220	△742	1,659	2,001	△342
八坂	270	283	△13	58	71	△13
美麻	1,598	1,384	214	281	373	△92
合計	7,346	7,887	△541	1,998	2,445	△447

● 各施設の設備・備品等修繕実施状況

施設	破損・故障箇所	修繕内容	費用 (円)
大町	公衆浴場男湯混合水栓修繕	部品交換	102,850
	食器消毒保管庫修繕	修繕	41,360
	デイこすもす自動水栓修繕	部品交換	48,400
	2階女子トイレウォシュレット修繕	部品交換	126,500
	公衆浴場女湯サウナ室壁板修繕	修繕	135,239
	公衆浴場男湯サウナ室壁板修繕	修繕	85,800
	公衆浴場男湯脱衣室換気扇修繕	部品交換	140,800
	集中管理電気時計修繕	部品交換	52,800
	公衆浴場のれん更新	更新	79,860
	炊飯ジャー更新	更新	157,300
	食器消毒保管庫更新	更新	488,510
	その他修繕	修繕部品交換ほか	343,500
合 計			1,802,919

施設	破損・故障箇所	修繕内容	費用（円）
八坂	消防設備修繕	部品交換	99,000
	衣類乾燥機修繕	部品交換	69,740
	床暖コントロール修繕	部品交換	155,650
	その他修繕	部品交換	27,940
合 計			352,330

設	破損・故障箇所	修繕内容	費用（円）
美麻	デイ入浴設備温度計修繕	部品交換	34,870
	多目的ホール電球交換	部品交換	91,410
	車庫電動シャッター修繕	部品交換	68,200
	ナースコール修繕	部品交換	11,990
	その他修繕	部品交換	45,230
合 計			251,700

#### 【評価と展望】

##### （大町）

- 本年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、普段と違う対応を強いられるケースが多かったが、行政担当課と密に情報を共有し大きな混乱とならなかった。

##### （八坂）

- コロナ禍の中でも安心して利用いただけるよう、アクリルパネルや手指消毒液等の設置を実施。その中でデイサービス利用者数は横ばいで推移している。

##### （美麻）

- コロナ禍において調理室をはじめとした保健センターの施設利用は大幅に減少した。感染症予防対策を徹底しながら開催した介護予防教室などは、安全に利用していただけるよう施設管理に務めた。
- 利用者の熱中症予防のため、年々進む温暖化に対応できるようエアコンの設置が急務となっている。

##### （3施設）

- 各施設の老朽化が進み、計画的な改修計画を市と協議する中で、最小限のコストで最大限の効果が得られる提案を検討。

#### エントランスホールの活用（大町市総合福祉センター）



～コットンサロン～



～3.11 復興の灯 in おおまち～

## Ⅱ お互いさまのまちづくり

お互いさまのまちづくりをめざして、地域の支え合い活動やボランティア活動支援と相互の連携強化を図りました。

### 1. 地域における支え合い活動の推進

地域にある生活課題の掘り起こしと助け合い活動の活性化のため、地域ふれあい交流事業、小地域福祉ネットワーク事業、地区社協連携強化事業に取り組みました。

#### (1) 地域ふれあい交流事業

市内で行っている地域活動や地域の資源を皆で共有するため、地域への訪問活動と情報発信を行いました。

項 目	実施結果・内容
交流会(サロン)の開催状況把握と活動支援	<p>◆定期的な交流会(サロン)の開催状況の把握と活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で市内での体操教室やサロン等が6月まで自粛されていた。</li> <li>・開始に向け、小地域福祉ネットワークの代表を対象に、新しい生活様式に合わせた集いの研修会を開催し、活動を支援した。</li> <li>・施設と連携し地域のサロン活動でも参加できる活動メニューを提案した。</li> </ul> <p>◆広報紙等による交流会活動の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の地域活動の工夫について、研修会や広報で周知した。</li> </ul> <p>◆地域関係者との連携による生活課題の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で高齢者が孤立しないよう住民と課題を共有した。 (安心コールモデル事業・ふだんのくらしのしあわせ絵手紙等)</li> <li>・フレイル予防のためコープながの主催の信州健康チャレンジ2020のオンライン研修会を実施し参加を呼び掛けた。</li> <li>・「3・11復興の灯 in おおまち」で、紙灯籠づくりを通じて災害時も助け合いの地域づくりを呼びかけ、防災に対する意識啓発を行った。</li> </ul> <p>◆子ども食堂関係への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子供たちにおやきの配布(神栄町)</li> <li>○北アルプスプラットフォームの活動</li> </ul>

#### 【評価と展望】

- 社会参加と介護予防をテーマに、役割のある居場所づくりを目指した。
- 民間企業や、地域の団体に地域課題等の情報を提供することで活動の幅が広がった。



十日町つくしの会(天正寺にて寺子屋)



あざみの会(絵手紙発送)

## (2) 住民支え合いマップ事業

日頃からの地域住民による支え合いが災害時への大きな備えとなることから、防災意識の向上と住民自らが課題を把握しその課題に向き合うことを目的とした「支え合いマップづくり」を他の事業と併せ推進しました。

項 目	実施結果・内容
自治会等への説明会及び作成支援	<p>《集会等でのマップ推進活動》</p> <p>◆災害サポーター養成講座と併せ、地域防災を進める手法の一つとして支え合いマップを紹介し推進した。</p> <p>(開催地区等)</p> <p>◆12/5 社地区連合自治会(30名)</p> <p>※コロナ禍の中、マップ作成や実際出向いての推進活動が思うようにできない状態であった</p>

### ● マップ作成自治会数の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
マップ作成自治会数	23	23	23	23	23

#### 【評価と展望】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、説明会などの機会が減少。結果、予定どおりの推進活動に至らなかった。
- 県社協主導による災害福祉かんたんマップ実証実験への参加により、地域に還元できる内容を広めていきたい。

## (3) 小地域福祉ネットワーク事業

既存のネットワークを対象とした研修会を開催するとともに、各ネットワークへの訪問活動を行い、活動内容と課題の把握に努めました。

項 目	実施結果・内容
小地域福祉ネットワーク研修会	<p>◆開催日：7月17日 ◆会場：大町市総合福祉センター</p> <p>◆参加者：28名</p> <p>◆内 容：</p> <p>【情報提供】市保健センター：西沢保健師</p> <p>コロナに負けない～これからの地域活動に役立つ新しい生活様式～</p> <p>【認知症勉強会】講師：市地域包括支援センター：諸角保健師</p> <p>ニチケアセンターおおまち 松澤美佳さん</p>
ネットワーク訪問活動	各ネットワークを訪問し活動内容と課題の把握、情報提供を行った。

### ● ネットワーク数の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
ネットワーク数	46	45	44	45	46

【評価と展望】

- コロナ禍で小地域福祉ネットワークの活動をしにくい一年であった。  
感染対策のため、集まって食事会をするのではなく、お弁当をもって訪問したり、おやきを作って届けたり、訪問、見守り活動が見直され活動の工夫がみられた。
- オンラインで行う研修会も積極的に利用できるよう支援に努める。

#### (4) 地区社協事業

市内6地区に地区社協が組織され、地区ごと特色のある事業を展開しました。各地区社協の活動の支援、事業の周知を行いました。

項 目	実施結果・内容
地区社協との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大町地区、八坂地区、美麻地区の事務局を担当</li> <li>○地区社協連絡会議の開催（8月）</li> <li>○共同募金、地区社協助成金等の交付で地区社協の事業を支援</li> </ul>

【評価と展望】

- 地区社協連絡会で各地区の活動の現状等情報交換し、生活支援員派遣事業(雪かき支援員)調整を各地区社協と連携しながら実施できた。
- 平、常盤、社地区では、公民館が地区社協事業を担当しているが、市社協事業とも連携をしながら事業を深めていく。

#### (5) 市民ふれあい広場の開催

福祉、子育て、健康、生活環境など、さまざまな分野の参加団体からなる実行委員会を組織して開催する市民ふれあい広場は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

項 目	実施結果・内容
○参加団体で構成する実行委員会による企画・準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月23日 第1回幹事会</li> <li>6月24日 中止の案内を昨年度参加団体宛に送付</li> <li>7月 7日 協力団体に中止の案内を送付</li> <li>7月21日 大系タイムスに中止を掲載</li> </ul>

#### ● 参加団体数の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
参加団体数	45	46	43	※17	—

※元年度は規模を縮小して「ミニふれあい広場」を開催

【評価と展望】

- 新型コロナウイルス感染拡大の観点から本年度は中止とした。
- 今後は感染状況を見極め、コロナ禍でも行える方法や形態を模索し開催の方法を検討していく。

## 2. ボランティア活動の推進

ボランティアセンターの活動や役割の周知を図り、ボランティア活動への理解促進と、活動に参加しやすい環境づくりに努めました。

### (1) ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター運営委員会の開催やボランティア保険手続き、備品貸出等により、ボランティア活動を支援しました。

項 目	実施結果・内容			
相談・登録・ニーズ把握・コーディネーター機能の充実	○ ボランティアに関する相談、連絡調整、ボランティア登録を実施 ◆ 登録状況 ボランティア団体 106体 6,183人			
ボランティアセンター運営委員会の開催	○ ボランティアセンターの適正な運営を図るため、運営委員会を開催 ◆ 第1回 8月28日 11人出席 内 容 令和2年度の取り組み、令和元年度事業報告 ボランティア基金の活用について ◆ 第2回 3月5日 10人出席 内 容 令和2年度事業報告、ボランティア基金の活用 令和3年度事業計画について			
個人・団体への各種備品の貸出	○ 備品の貸出実績（別表参照）			
	○ 機材使用実績			
	コピー機	団体数 19 団体	白 5,681 枚	カラー419 枚
	パソコン	団体数 4 団体	延べ 12 回	
貸出備品整備	○ ボランティア基金を財源として、ボランティア室パソコン1台更新。			
ボランティアに関する各種保険窓口業務	○ボランティア活動保険加入状況 基本プラン 1,868 人 天災プラン 1 人 ○ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償保険等加入の窓口業務実施			
ボランティアニュースの発行	○年6回発行（奇数月）全戸、市内小中高校、NPO法人配布 9,100部（別表参照）			
ボランティア研修会の開催	○ボランティアリーダー研修会は、コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ○レクリエーション習得のためのミニレク講座開催 ◆第1回 8月7日 「まず、あなたが楽しみましょう」 ◆第2回 10月2日 「なつかしい遊び」 ◆第3回 12月4日 「挑戦！みんなでゲームアレンジ」 ◆第4回、第5回はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ○大北ボランティア地域活動フォーラムをオンライン形式で開催 開催に向けた実行委員会を3回開催 ・開催日 12月14日 ・場所 大北各市町村 ・内 容 テーマ つながりが築く！生き・生き・元気な暮らしづくり 講 師 酒井保さん（ご近所福祉クリエーション主宰） コロナ禍でのボランティア活動発表			



● ボランティア登録団体数の推移 (単位：団体)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
登録団体数	100	105	105	103	106

● 備品の貸出実績内訳 (単位：件)

品名	車いす	体験用車いす	高齢者疑似体験	ベビースケール	点字器	アイマスク
件数	121	25	4 (16)	0	1 (26)	2 (97)
品名	プロジェクター	スクリーン	テント	ワイヤレスマイク	ポップコーン製造機	綿菓子製造機
件数	68	10	1	1	1	1
品名	ポッチャ	カーレット	ゲーム用品	暗幕	パーティション	イーゼル
件数	39	21	31	3	0	0
品名	白杖	視覚体験グラス	ジンリキ	マグネット吹き矢	ノートパソコン	ドラム
件数	2	2	1	0	2	3

※ ( ) 内福祉教育使用数

● ボランティアニュースの発行内容

号 数	発行日	主な記事
197号	5月1日	ボランティア活動助成金紹介/貸出備品紹介 ボランティア団体登録と助成金の申請について
198号	7月1日	貸し出し手作りゲーム紹介/自宅で出来る運動の紹介 ボランティア講座、小地域福祉ネットワーク研修会参加者募集/共同募金 公募配分事業開始
199号	9月1日	お家で出来るボランティア紹介 除雪有償ボランティア募集/安心・安全なまちづくり活動支援助成
200号	11月1日	創刊から200号 福祉啓発標語募集/大北ブロックボランティア地域活動フォーラム募集
201号	1月1日	大田市社会福祉大会開催/カレンダー回収依頼/一人暮らし応援ボラ募集 ミニレク講座、知って得する社協の講座参加者募集 コロナ禍での通いの場開催留意点
202号	3月1日	福祉啓発標語入選者発表 ボランティア保険のご案内/3.11復興の灯inおおまち開催

【評価と展望】

○少人数でのボランティア講座開催や自宅で出来るボランティア活動の紹介、オンライン形式での研修会の開催等、コロナ禍でも出来る活動を紹介しボランティア活動支援に努めた。  
○昭和 62 年に創刊したボランティアニュースが 200 号を迎え、過去の紙面からボランティア活動の歴史を振り返るとともに、引き続ききめ細やかなボランティア活動に関する情報発信に努める。



貸出ゲーム  
～投げてジャンケンポン～



ボランティアニュース

## (2) 有償ボランティア事業

項 目	実施結果・内容			
有償ボランティア コーディネート	希望者等からの要請を受け、地域や関係機関等との調整をした			
	○コーディネート件数 12件			
	○取扱い件数（1件で複数ニーズあり）			
	内容	件数	内容	件数
	草とり、草刈り	4件	買い物支援	1件
	家のゴミ片付け	1件	日常ゴミ出し	1件
	庭木の剪定	2件	見守り	4件
	外出支援	1件		
	○対応結果			
▼もちもちサービス対応 4件		▼既存の支え合いで対応 5件		
▼シルバー人材と調整 1件				
▼その他 2件				

### 【評価と展望】

- もちもちサービスの仕組みは、無償のボランティアで頼んだり頼まれたりしにくい場合に有償の仕組みを利用していただくよう説明している。
- 屋外の作業だけでなく、家事支援など多様なニーズに対応できるよう担い手の育成が課題になっている。
- 既存の地域団体や機関も紹介しながら、自立支援を視野に入れた解決方法のご提案を個別のニーズに対し提案していく。

大田市社会福祉協議会 有償在宅サービス事業

#### 住民参加の有償在宅サービス

### 安心くらしのもちもちサービス

#### もちもちサービスって？

希望のサービスは、希望者（依頼者）とボランティア（支援者）のマッチングが重要で、お互いのニーズが満たされるように調整しながら進めます。また、ボランティアの育成・支援も重要な取り組みです。



#### サービスの内容

- ◆宅内の清掃
- ◆「ゴミ出し」のサポート（ゴミの分別指導など）
- ◆買い物代行
- ◆外出支援（散歩や買い物などの付き添い）
- ◆通院時の送迎（送迎、乗降のサポート）
- ◆その他必要となるサービス

#### 時間と料金

- ◆利用時間：午前9時～午後5時（午後5時～午後7時は別料金）
- ◆基本料金：30分500円（※30分単位で利用可能）
- ◆チケット制：あらかじめ予約して利用可能。チケットは事前に申し込みが必要。

※身体介護や自家用車での送迎、また、介護保険制度などの公的サービスで対応可能な内容については、もちもちサービスの対象外となります。

#### サービス開始までの流れ



※お申し込み内容によっては、両者の合意と調整がとれずご迷惑をおかけすることがありますが、ご了承ください。

【申し込み・お問い合わせ】 大田市社会福祉協議会 TEL22-1501/FAX22-7071

大田市社会福祉協議会 有償在宅サービス事業

住民参加の有償在宅サービス

### もちもちサービス 協力会員募集！



#### もちもちサービスって？

このサービスは、介護保険制度などの公的サービスで対応できないニーズを「もちもちサービス」として対応します。また、ボランティアの育成・支援も重要な取り組みです。

#### 協力会員の登録手順は？

事前研修受講 → 登録申込書の提出 → 会員の発行

#### 協力会員への謝礼（活動費）は？

◆30分 250円です。 ◆謝礼は、協力会員が自宅を出発した時間からサービス終了後、帰宅するまでの時間です。

- ◆もちもちサービスはチケット制です。サービス提供後、利用日より支援時間分のチケットを授与させていただきます。
- ◆協力会員は、サービスを提供した月の翌月10日まで活動日報に提出したサービス券を添えて大田市社会福祉協議会まで提出してください。謝礼は基本、口座振込みです。

※身体介護や自家用車での送迎、また、介護保険制度などの公的サービスで対応可能な内容については、もちもちサービスの対象外となります。

協力会員はいつでも募集しています。「私にも役立てるかしら」という気（①）と、「困った誰か手伝ってほしいか」という気（②）をつなぐもちもちサービスで、一緒に楽しいまちを作っていきます。

【申し込み・お問い合わせ】 大田市社会福祉協議会 TEL22-1501/FAX22-7071

### Ⅲ 安心して暮らせるまちづくり

日常生活で支援を必要とする人が住み慣れた地域で暮らし続けるための各種在宅福祉サービス等を提供し、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが生きがいを持って「安心して暮らせるまちづくり」を推進しました。

#### 1. 生活支援活動の推進

ひとりでは解決できない暮らしの中の悩みごとや、身体状況・居住環境による外出困難、認知症や障がい等による判断能力の低下、雪かき支援員の派遣等に対応するサービスを提供し、生活支援活動の推進に努めました。

##### (1) 心配ごと相談事業

暮らし中の悩みごとについて、1人で悩むことのないよう、解決の糸口を相談員とともに見出し、ていく相談窓口を開設しました。

項 目	実施結果・内容
心配ごと相談	○ 毎月2回開設
司法書士相談	○ 相談件数62件

##### ● 相談内容

(単位：件)

区分	生計	土地 家屋	家族	離婚	財産	金銭 貸借	健康	近隣	苦情	その他	合計
H30	0	15	6	3	23	5	0	2	0	13	67
R1	2	13	12	2	28	14	2	4	0	8	85
R2	1	14	5	3	21	2	3	8	0	5	62

##### ● 相談件数の推移

(単位：件)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
相談件数	61	55	67	85	62

##### 【評価と展望】

- 法律に関係する内容にも対応できるよう心配ごと相談と司法書士相談を併せて開設した。
- 大北地域各社協の相談日程を、社協おおまちや有線放送等で広く相談窓口を周知した。
- 生活就労センター「まいさぽ大町」及び日常生活自立支援の相談受付を広報した。
- コロナ禍の影響と、貸付制度などの充実により相談件数が減少したと考える。

##### (2) 福祉輸送サービス事業

ひとりでは公共交通機関が利用できない高齢者や障がい者等の外出を支援するため、車いすに乗ったまま乗り降りできる福祉車両による送迎サービスを提供しました。

項 目	実施結果・内容
通院や買い物等外出時の福祉車両による移動支援	○ 通院や買い物等の外出支援として福祉車両による送迎サービスを提供 運行時間 平日8:30～17:00（祝日・年末年始を除く） 利用料金 市内500円、市外1km当たり50円を加算 運行範囲 市内発着で市境から20km以内 ◆ 運行日数・回数 240日・延べ4,042回 ◆ 年度末利用登録者数 250人（うち新規登録者数 58人）
福祉車両の貸出	○ 空き時間に福祉車両を貸し出し（年末年始を除く） ◆ 利用回数 延べ11回
運転手の確保	○ 資格認定職員数 17名（専任2名）

● 年度末利用登録者数の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
利用登録者（人）	142	132	144	197	236	250

● 拠点別運行回数の推移

（単位：回）

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
大 町	2,058	2,165	2,721	3,452	3,662
八 坂	139	203	258	249	343
美 麻	91	90	158	101	37
合 計	2,288	2,458	3,137	3,802	4,042

【評価と展望】

○福祉輸送サービスにより、受診や買い物等の外出の機会を確保し、医療や介護等の機関と連携しながら、できるだけ利用者の希望に添ったきめ細やかな対応を心掛けた。

○透析など定期利用者のほか、新規登録者、運行回数共に増加傾向にあり、民間介護タクシー事業等との連携により、利用者のニーズに対応した。

○コロナ禍でも感染予防に配慮し、引き続き、安全運転と車両整備に努め、福祉輸送サービスの実施を継続していく。



福祉輸送サービス車両

### (3) 日常生活自立支援事業

大北地域の基幹的社協として、判断能力が十分でない人（認知症、知的障がい、精神障がい等）の福祉サービスの利用援助や、日常的金銭管理等のサービスを提供しました。

項 目	実施結果・内容
福祉サービス利用 援助契約	○ 専門員による相談受付、県社協との協議、契約 ◆ 新規契約 5件 解約 5件 ○ 専門員、生活支援員による利用援助支援 ◆ 支援回数 779回（平均64.9回／月） ○ ケース検討会議の出席 対象者3人 延べ6回
成年後見制度との 連携	○ 成年後見相談会に出席し、判断能力の低下による利用者の相談をした 本事業から成年後見制度への移行1件
その他	○ 県全体の専門員等を対象とした推進会議に参加 ◆3月8日（ZOOM会議）

#### ● 年度末契約者数・延べ支援回数の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
年度末契約者数（人）	76	70	52	50	50
延べ支援回数（回）	2,570	2,291	1,729	1,617	1,543

#### ● 市町村別・対象者別契約者数（令和3年3月末現在）（単位：人）

対象者	大田市	白馬村	小谷村	合計
認知症高齢者	12	3		15
知的障がい者	14			14
精神障がい者	18	2	1	21
合 計	44	5	1	50

※ 松川村は平成28年度から準基幹的社協として直営で実施。

※ 池田町は平成30年度から単独実施社協として直営で実施。

#### 【評価と展望】

○ 判断能力の低下が著しい利用者については、成年後見支援センター、市町村行政、包括支援センター等の関係機関と連携しながら成年後見制度への移行を進めていく。

### (4) 成年後見支援センター事業

大北地域を対象に、判断能力が十分でない人（認知症、知的障がい、精神障がい等）の成年後見制度の利用に関する相談や制度の普及・啓発を実施。親族や専門職等による支援が難しい人の法人後見を受任するため、北アルプス成年後見支援センターを運営しました。

項 目	実施内容・結果
成年後見制度の利用に関する相談・支援	○常設相談員による相談・支援を実施 ◆ 延べ 89件 ○成年後見無料相談会を開催（毎月） ◆ 延べ 23件 ○日常生活自立支援事業との連携 ◆ 日常生活自立支援事業から成年後見制度移行1件 センター受任1件



項 目	実施内容・結果
普及・啓発	○普及啓発研修会を実施 ◆第1回 11月13日 14名参加 会場 大町市総合福祉センター 講師 司法書士帯金康佑氏 社会福祉士守屋幹雄氏 ○広報紙、パンフレット、ホームページ等による広報を実施
法人後見の受任	○ 家族や専門職等による支援が難しい人の法人後見を受任 ◆元年度末受任件数 16件（後見12件、保佐4件） ◆2年度新規受任件数 1件（後見1件） ◆2年度終了受任件数 3件（後見2件、保佐1件 理由：死亡） ◆2年度末受任件数 14件（後見11件、保佐3件）
適正な事業運営	○運営委員会の開催 ◆第1回 6月22日 ・R1事業報告・決算 ・R2事業計画・予算 ・受任状況報告 ○小委員会の開催（全3回） ◆内容 法人後見受任の適否について ◆開催日 ・ 5月20日 ・ 11月11日 ・ 3月26日

●相談件数及び法人後見受任の推移 (単位：件)

年 度		H28	H29	H30	R1	R2
相談件数		99	120	176	158	89
法人後見 受任状況	新規	3	4	5	11	1
	終了	0	3	0	4	3
	受任中	3	4	9	16	14

●市町村別・区分別相談件数 (単位：件)

市町村	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	合 計
件 数	44	23	2	10	7	3	89
区 分	認知症高齢者		知的障がい者		一 般		
件 数	32		15		23		

●市町村別・類型別法人後見受任数(累計) (単位：件)

類 型	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	合 計
後 見	11	4	3	1	1	20
保 佐	3	1				4
補 助						
合 計	14	5	3	1	1	24

※平成28年度から令和2年度までの法人後見受任件数

【評価と展望】

- 成年後見利用促進事業に伴う中核機関等行政と連携して進めていく。また、日常生活自立支援事業との連携強化及び成年後見制度へのスムーズな移行が求められている。
- 市町村首長申し立てが増加している中、市町村行政及び地域包括支援センター、大北圏域障害者相談支援センターとの連携を強化する。
- 身寄りのない被後見人の死亡時の対応について、関係機関の役割調整が必要である。

## (5) 豊かな暮らし応援事業

生活の不便さを少しでも解消するサービスの提供や、暮らしに役立つ講座の開催を通して、豊かな暮らしの増進に努めました。

項 目	実施結果・内容
美麻診療所患者輸送業務	○ 運行日数 143日（毎週月・水・木曜日） ○ 延べ利用者数 539人（平均3.8人/月）
美麻地区介護予防教室参加者輸送業務	○ 運行日数 14日（6～12月 隔週火・木曜日他） ○ 延べ利用者数 117人（平均8.4人/日）
八坂・美麻配食サービス配達業務	○ 八坂・美麻地区内の高齢者等を対象に、各地域福祉センターを拠点とした配達ボランティアによる配食弁当の配達業務を実施 ◆ 配達件数（八坂：0食 美麻：延べ491食） ◆ 実働ボランティア数（八坂：0人 美麻：0人）
生活支援員（雪かき支援員）派遣業務	○ 独居または高齢者のみ等で雪かきが困難な世帯に支援員を派遣 ◆ 延べ派遣回数 1,744回 ◆ 延べ作業時間 1207.5時間 ◆ 延べ除雪機使用時間 601.5時間 ◆ 登録世帯数 176世帯（内実利用世帯数 145世帯） ◆ 雪かき支援員数 65人（内実稼働人数 44人）、1団体 ○ 支援員登録者対象の説明会（11月17日） ○ 支援員アンケートの実施 ○ 市内自治会長・小地域福祉ネットワークを対象に、雪かき支援の協力依頼を通知。前年実績で自治会別の支援員数と支援希望者数を説明。 ○ 支援員不足の現状を理解いただき、本事業への協力を呼びかけた ◆ 地区社協連絡会（8/6） ◆ 常盤地区（10/5）
高齢期安心生活支援業務	○ 高齢期を豊かで自分らしく生活するため、「知って得する社協の講座」を開催 ◆ 場所 大田市総合福祉センター大会議室 ◆ 内容 12月18日 「もしもの時に伝えたいこと」 参加者9人 1月14日 「遺言と民法改正について」 中止 2月25日 「スマートフォンで災害に備えよう」 参加者11人 3月10日 「やってみよう！花咲く書道」 中止 3月24日 「振り返ってみよう！我が家の家計」 参加者7人
金銭管理及び財産保全サービス事業	○ 専門員による相談受付、契約 ◆ 新規契約 11件 解約 4件 ○ 専門員による利用援助支援 ◆ ケース検討会への出席 5回 ◆ 利用援助支援回数 289回（平均24回/月）

### ● 金銭管理及び財産保全サービス推移

年 度	H28	H29	H30	R 1	R 2
年度末契約者数（人）	—	—	11	16	23
延べ相談等支援回数（回）	—	—	233	555	675

### 【評価と展望】

#### （美麻診療所患者輸送業務）

- 医師が着任してから 1 年が経過し、診療内容等が充実したことなどから、利用者増となった。冬期間の降雪時の運行は、行政から許可を得て小型車両を使用し安全な運行を行うことができた。また、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、乗車前の検温、手指消毒を徹底した。

#### （美麻地区介護予防教室参加者輸送業務）

- 行政と連携し市主催の介護予防事業参加の送迎を実施。乗降に配慮し安全な運行に務めることができた。

#### （八坂美麻配食サービス配達業務）

- 配食ボランティアの受け手がいないため職員対応となっている。今後、地域の実態に合わせた見直しが必要となっている。今年度、2 名の利用者増となった。

#### （生活支援員派遣事業）

- 雪かき支援員の制度を理解いただき協力者を依頼することが難しい地域がある。常に支援員を募集していかなければならない。
- 作業時間には移動時間も含まれる。出来るだけ地域の中で協力者を探すが、財政面でも、日常生活の支え合い活動、災害など有事の際の支え合いにも役立ち、安心して暮らせる地域づくりにつながると考えられる。

#### （高齢期安心生活）

- 講座の受講により、隣近所とのつながりや災害にも役立つ内容、さらには自身の家計を見直すきっかけとなった。
- 2 回目と 4 回目の講座は新型コロナウイルスの感染拡大防止のためやむなく中止とした。
- 昨年度は、年度末に予定していた講座が、軒並み中止となってしまったことを踏まえ、今年度は、12 月から月 1 回ペースでの開催を計画した結果、3 回まで開催することが出来た。また、昨年度計画していた要望の多かった講座を、今年度改めて実施することが出来た。さらに、感染対策を十分に行い、可能な講座を出来る限り進めていく方向で、来年度以降も実施していきたい。

#### （財産保全）

- 家計改善支援事業との連携により、生活の安定を図ることのできるケースが増えている。
- 利用者の状況により、必要に応じて日常生活自立支援事業への移行を検討する。



生活支援員（雪かき支援員）高齢者宅の除雪



## 2. 高齢者福祉活動の推進

高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、介護者の負担軽減を目的に、生活状況や希望に応じた介護サービスを計画的に提供し、高齢になっても在宅で暮らし続けられるよう支援しました。

また、新型コロナウイルス感染予防対策に最善を尽くすとともに、利用者・家族、関係者および職員などへその取り組みへの理解と協力をお願いし、誰もが安心してサービス利用と提供の継続が図れるよう努めました。

### (1) 居宅介護支援事業

多様な地域資源を活用した適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関・団体等と連携しながら自立に向けたケアプランを作成し、在宅生活の継続支援に努めました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）</li> <li>○ 年度末登録者数 95人</li> <li>○ 延べ利用者数 986人（平均 82.1人／月）</li> </ul>
居宅介護サービス計画の作成・モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本人と家族の意向を聞き、介護保険サービス計画書を作成・給付管理を行った（介護予防サービス計画書作成・給付管理）</li> <li>○ 毎月1回以上自宅に訪問してモニタリングを実施した</li> <li>○ 医療と介護の連携強化に努めた</li> </ul>
介護全般の相談・手続きの代行	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入院、退院時の相談、施設への相談を行った</li> <li>○ 介護全般に関わる相談を随時受け付けた</li> <li>○ 介護認定の更新、住宅改修、福祉用具購入の手続きの代行をした</li> </ul>
コロナ感染対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出勤時の検温実施、マスク着用、アルコール消毒、アルコールの携帯</li> <li>○ 各種研修会への出席（zoom等）</li> </ul>

#### ● ケアプラン作成件数の推移 (単位: 件)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
要 支 援	105	225	※172	171	110
要 介 護	838	575	※683	862	876
合 計	943	800	※855	1,033	986

※13 力月実績

#### 【評価と展望】

- 介護支援専門員として資質の向上を図り、ケアマネジメント業務充実に努めた。今後も研修等への参加を積極的に実施したい。
- 独居や高齢者世帯等で家族支援が得られないケースについては、関係機関との連携を強化して対応することが増えてきている。今後もその必要性に応じ連携を深めた対応を行いたい。
- 介護保険以外でも地域の実情に合わせた多様なサービスを提案できた。引き続き、地域とのつながりを大切にした提案に努めたい。
- 感染対策を常に意識しながら業務を行い、関係機関との連携や情報共有に努めてきた。今後も引き続き、感染対策をしっかりと行っていきたい。

## (2) 訪問介護事業

利用者が安心して在宅生活を維持・継続でき、また介護者の負担軽減が図れるよう、ホームヘルパーの訪問による身体介護及び生活援助のサービス提供を行いました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 営業日数 365日 ○ 年度末契約者数 128人 ○ 延べ訪問時間 16,053時間（平均1,337.75時間／月）
安定経営とサービスの向上	○ 関係機関との連携による新規利用者の確保 ◆ 総合事業 5名 介護保険事業 27名
職員の資質向上	○ 介護技術向上のための年間計画を作成し、定期的に研修を実施した
他職種との連携	○ ケアマネージャーや医療・福祉関係との連携を図れた

### ● 延べ訪問時間数の推移

(単位：時間)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
要 支 援	2,785	2,805	※2,503	1,926	1,852
要 介 護	15,394	15,308	※17,033	15,984	14,201
合 計	18,179	18,113	※19,536	17,910	16,053

※13 カ月実績

#### 【評価と展望】

- 感染症禍により外部からの講師の依頼に苦慮した。コロナ感染症予防対策の研修では感染症について理解し知識を深められた。
- 訪問回数の多い利用者の終了や長期入院、施設入所が多かったため減少し、また、新規受け入れにも努めたが、こちらも終了、入院や入所により、減少傾向となった。次年度以降も積極的に新規の受け入れをしたい。
- 他職種からの情報と連携も図れ、細やかなサービス提供につながるようケアマネージャーと情報共有を行った。
- 訪問介護員の高齢化により、職員確保と維持に課題がある。

## (3) 訪問入浴介護事業

専用の入浴車と浴槽を用いてご自宅で入浴出来るサービスです。看護師を含めた3名のスタッフが移動入浴車でご自宅にお伺いし、組み立て式の専用浴槽をお部屋の中に設置します。

寝たきりや身体の障がい等で、一人での入浴が困難な方でも、安全な姿勢で身体の負担も少なく入浴いただきました。またご家族との介護相談にお応えしました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 256日（12/29～1/3を除く月～金曜日） ○ 平均契約者数 19.5人／週 3.9人／日 ○ 延べ訪問回数 936回（平均 78回／月）
安定経営とサービスの向上	○ 関係機関との連携 ◆ ケアマネージャーとの情報共有を図り、密接な連携が図れた ◆ 白馬村・小谷村のニーズを積極的に受け入れた 【延べ利用者数内訳：白馬村・小谷村 479人 大町市ほか457人】
職員の資質向上	○ 訪問介護・訪問入浴部会研修への参加は感染症禍により中止となる

### ● 延べ利用者数の推移

(単位：人)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
延べ利用者数	763	789	※1099	954	936

※13 カ月実績

【評価と展望】

- ケアマネージャーとの連携を深めることで新規の紹介が増えた。事業の特性上ターミナルケアによる短期の契約や医療管理が必要な重度の方も多く、僅かな利用で中止になることが多かった。
- 需要が増えてきている中で、今後もケアマネージャーの依頼に対応できるよう新規獲得に努めたい。

## （４）通所介護事業

利用者や介護者が抱える課題に応じた特色あるサービス提案と柔軟な対応を図るとともに環境整備により心地よく過ごせる事業所づくりに努めました。

### 【１】 デイサービスセンターひなたぼっこ（認知症対応型デイサービス）

地域とのつながりを深めながら、認知症の進行緩和と心身機能の維持・改善を図るとともに、介護者の支援も視野に入れたサービスを提供し、在宅生活が継続できるよう支援しました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 359日（年末年始12/29～1/3を除く）</li> <li>○ 年度末契約者数 22人（昨年比5人減）</li> <li>○ 延べ利用者数 2,919人（平均243.3人／月、8.1人／日）</li> </ul>
職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルスに係る研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆厚労省・県・市の指針を周知</li> <li>◆本協議会及び介護事業係内事業所の取り組みの周知と実施の継続</li> </ul> </li> <li>○ 専門性の高い職員の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ケース検討を中心とした内部研修の実施（症状の捉え方、対処法）</li> <li>◆介護職リーダー研修への派遣（10月松本会場1名）</li> </ul> </li> </ul>
安定した経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者ニーズへの柔軟な対応及び介護支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆定期的な利用に結びつくよう見学から徐々に利用回数を増やすなど利用者・家族のニーズに寄り添ったサービス提供ができた</li> </ul> </li> <li>○ 介護相談（なんでも相談）の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆感染症禍により、ご家族に気軽に来所いただくことが困難だった</li> </ul> </li> <li>○ 年末臨時入浴サービスの提供（自費サービス：1,400円） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆実施日：12月30日 利用者数：9人（昨年同実績）</li> </ul> </li> </ul>
ボランティア担い手の拡充と啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の方によるボランティア活動の機会づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>◆年間で6回ほど企画しているが、感染症禍により実施を見送った</li> <li>◆運営推進会議の開催ができなかったが、ひなたぼっこだよりを配布し運営の様子をお伝えした</li> </ul> </li> </ul>

### ● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
要 介 護	3,124	3,022	※3,053	2,889	2,919

※13 カ月実績

### 【評価と展望】

- 外部への研修の有料化や定員が少なくなる傾向があった。感染症禍で中止となるものが多く、派遣にも躊躇した。
- 施設入所、ショートステイを併用する利用者が増え、稼働量の維持に苦慮した。
- ボランティアに協力いただく行事が実施できなく、担い手の発掘に繋がらなかった。
- レンガ塀の高さ（120 cmから 30 cmへ）や傾いた部分の撤去により、安全で安心して利用いただける環境整備ができた。
- 感染予防対策に疲弊することのない環境づくりにより、利用者・家族、職員等が安心して過ごせるよう努めたい。
- 加齢とともに、体力低下し車いすを利用される方が増えた。一般浴槽での入浴介助に腰痛を訴える介護員が増えたため、介護による心身への負担を軽減できるよう職場で工夫を凝らしたい。

## 【2】 デイサービスセンターこすもす

季節感あふれる行事やレクリエーション活動を充実させるとともに、選べる昼食を提供しながら、利用者の心身機能の維持・向上を図り、在宅生活の継続を支援する、通所サービス提供を行いました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 308日（日曜日・年末年始を除く）</li> <li>○ 年度末契約者数 66人（要介護43人、総合事業23人）</li> <li>○ 延べ利用者数 4,340人（平均361.6人／月、13.9人／日）</li> </ul>
安定経営とサービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関との連携による新規利用者の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆新規利用者：総合事業6名 介護保険18名</li> </ul> </li> <li>○ 年末臨時入浴サービス <ul style="list-style-type: none"> <li>◆12/29 機械浴 5名 一般浴 3名</li> <li>◆1/4 臨時利用 1名</li> </ul> </li> </ul>
職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外部研修への参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆コロナウイルス感染症研修会、感染症・食中毒研修、R3年度報酬改定研修会</li> </ul> </li> <li>○ 自主研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆定例ミーティングにて、介護保険制度や身体メンテナンス等の研修</li> </ul> </li> </ul>
設備整備の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ こすもす施設内12か所の照明をLEDに交換</li> <li>○ 洗面台自動水栓の故障修理</li> </ul>
経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経費節減対策の検討・実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用者のおやつやお茶等給食費見直し</li> </ul> </li> </ul>

### ● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
要 支 援（事業対象者）	1,834	1,607	※1,729	1,311	1,374
要 介 護	4,024	4,149	※4,081	2,299	2,966
合 計	5,858	5,756	※5,810	3,610	4,340

※13カ月実績

【評価と展望】

- 4月での1カ月当たりの利用者333人から、3月には410人に増加。今後、平均利用者数を18人/日、468人/月を確保することを目標とし、そのためにも介護職員2.5人の確保に努める。
- 外出行事は感染対策をしながら行えたが、外部の芸能ボランティアの受け入れが難しく実施できなかった。
- 特殊浴槽の整備が整った利点を生かし、重度（特殊浴槽対象）の利用者確保に努めたい。
- 総合事業から要介護へ移行する利用者が増えたが、サービスの質を低下させないように努めていく。
- 年末年始入浴サービスに、機械浴だけでなく、一般浴の受け入れができた。今年度も要介護のついた利用者を対象に検討したい。

【3】 デイサービスセンターみさか

利用者と介護者の希望に応じたサービス提供に努めました。

項 目	事 業 結 果 ・ 内 容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 257日（年末年始を除く 月～金曜日）</li> <li>○ 年度末契約者数 50人（要介護39人、総合事業11人）</li> <li>○ 延べ利用者数 4,173人（平均 347.8人/月 16.2人/日）</li> </ul>
日常生活支援事業の取り組み	○大町市民生係及びケアマネ等と連携した速やかな対応と新規利用者の受け入れに努めた
新規利用者の確保	○ 新規利用者 7人（八坂地区 3人・大町地区 4人）
自主事業の実施	○ 年末入浴サービス（12月30日 利用者数 22人）
芸能ボランティア等の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナ禍に鑑みボランティア活動を自粛、四季を通じた外出行事及び保育園児、小中学校児童生徒との交流会の実施</li> <li>◆外出行事 ・ 6月野平ラベンダー祭・10月紅葉見学</li> <li>◆音楽療法 ・ 年12回</li> <li>◆園児・児童・生徒交流活動（七夕、ハロウィン、クリスマス会他）</li> </ul>

● 延べ利用者数の推移 (単位:人)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
要 支 援	740	695	※857	768	714
要 介 護	3,451	3,127	※3,588	3,345	3,459
合 計	4,191	3,822	※4,445	4,113	4,173

※13カ月実績

【評価と展望】

- 介護度の高い利用者の家族都合による施設入所や入院ショートへの移行もあり、冬季利用者数は減少、また、要介護、総合事業含め週1回程度の利用者もみられることから、年間通じての日平均利用者数は横ばいである。(対前年比 101.5%)
- 通所介護事業において通院や家族都合による変更等、利用者ニーズに応じた柔軟な対応に努めた。
- 引き続き、経費削減に努めるとともに、働く職員や利用者の感染予防への徹底と、利用者送迎も考慮するなか、施設利用者のサービス向上に努める。
- 今後、一人暮らし利用者が増える傾向にあり、在宅で安心して暮らせるよう、引き続き地域関係者（ケアマネ等）と連携した利用者支援に努める。

#### 【4】 デイサービスセンターみあさ

心身機能の維持・向上のため個別に機能訓練などを積極的に取り入れ維持向上に努めました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 257日（年末年始を除く月～金曜日）</li> <li>○ 年度末契約者数 54人（要介護 40人、総合事業14人）</li> <li>○ 延べ利用者数 4,918人（平均409.8人/月、19.1人/日）</li> </ul>
利用者ニーズに応じたサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通院等による曜日変更や臨時利用など柔軟に対応</li> <li>○ 利用者の体調管理を主治医、訪問看護師、ケアマネージャーと連携し迅速に対応</li> </ul>
自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年末入浴サービスを実施</li> <li>◆実施日：12月30日 利用者数 16人（一般浴 10人 機械浴 6人）</li> </ul>
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仮設エアコン試験的設置（リース）</li> <li>◆ 設置日（6/11） 使用（6/15～10/14） <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動室の室温を28度前後に保つことができ、熱中症予防に効果があった</li> </ul> </li> <li>○ 特殊浴槽のストレッチャー故障に伴う更新（12/24設置）</li> <li>◆ 特殊浴槽視察（10/23） 選定審査会（11/11） <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化していた特殊浴槽及びストレッチャーの更新により利用者の安全性が確保できた</li> </ul> </li> </ul>
感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の予防のため、アクリル板の設置、乗車時の消毒・検温など実施し、利用者及び職員の安全確保に努めた</li> <li>○ 感染予防用の備品等備蓄を行った</li> </ul>
芸能ボランティア等受け入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 芸能ボランティアの受け入れは感染症予防のため中止</li> <li>○ 園児・生徒との交流 2回/年</li> </ul>
新規利用者の確保	○ 新規利用者 20人（美麻地区 17人 他地区 3人）

#### ● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
要 支 援	598	807	※928	839	871
要 介 護	3,558	3,770	※4,398	4,012	4,047
合 計	4,156	4,577	※5,326	4,851	4,918

※13 カ月実績

#### 【評価と展望】

- 利用者や家族の意見を聞きながら、ニーズに合ったサービス提供を心がけ、急な変更にも柔軟に対応することができた。
- 年度初めは感染症禍に伴い、冬期入所期間が延長となり利用者が減少した。
- 年間を通して亡くなられる利用者や入所の方が多く稼働が減少傾向だったが、年度後半に新規利用者の増加に伴い安定した稼働が確保できた。
- 感染症対策を徹底し安心安全に利用できる施設運営に努める。
- 更新された特殊浴槽を最大限に活用し特色あるデイサービスセンターを目指す。

### 3. 障がい者福祉の推進

個々の能力を活かし、その人らしい豊かな地域生活が送れるように多様な福祉サービスを提供しました。また、地域で支える住民に障がいへの理解を促す啓発活動の推進に努めました。

#### (1) 障がい理解促進事業

項 目	実施内容・結果
障がい者理解促進講座	○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた講座を中止

##### 【評価と展望】

○ 新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、講座の企画を検討したい。

#### (2) 障がい者余暇活動支援事業

イベントの企画・運営、情報発信により、障がい者の社会参加の促進に努めました。

項 目	実施内容・結果
希望の旅	○ 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止
いっほの会	○ 開催10回 参加者延43人 ◆ 6/26 (3人)、7/31 (6人)、8/28 (5人)、9/25 (3人) 10/23 (5人)、11/27 (6人)、12/25「クリスマス会」(3人)、 1/22 (3人)、2/26 (4人)、3/26 (5人)

#### ● 障がい児・者希望の旅事業参加者数の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
参加者数(人)	44	41	48	35	—

##### 【評価と展望】

○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止せざるを得ない状況となった。  
○ アドバイスが欲しいときに参加するなど、参加者自らの意思を持って参加するようになった。

#### (3) 障がい者就業支援事業

地域で安心して働くことができるよう障がい者と事業所等、双方に情報提供を行い、就業に必要な訓練・実習など支援し、社会参加の促進に努めました。

項 目	実施内容・結果
障がい者就業・生活支援センターとの連携	○ 地域で安心して働くことができるように、同じフロアに席を置く「障がい者就業・生活支援センター」と双方に情報提供を行い、就業に向けた支援を実施

#### （４）地域生活支援事業

保健・医療・地域の支え合い活動などと連携し、相談支援サービスならびに、障害福祉サービス利用にあたっては利用計画を作成しました。

##### 【１】障害福祉サービス計画支援事業

障害福祉サービスの計画的な利用について関係機関と連携しながら相談・計画支援にあたりました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 年度末登録者数 79人 ○ 延べ利用者数 283人（平均23.5人／月）
障害福祉サービス計画書の作成	○ 利用者等の心身状態・家庭環境等を把握し、在宅生活が継続できるサービス利用計画を作成 ○ 計画作成者には、定期的なアセスメント・モニタリングを実施
関係機関等との連携強化	○ サービス事業者や関係機関との連携による利用者への支援体制の強化 ◆ 関係者会議、事業所見学同行の実施 ◆ 自立支援協議会・サービス相談支援部会への参加
専門職の資質・技術の向上	○ 研修等への参加による情報・知識の習得、ケアマネジメント技術の向上

##### ● 計画作成・モニタリング件数の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
計画作成件数（件）	33	57	※64	63	70
モニタリング件数（件）	76	116	※167	184	213

※13 カ月実績

【評価と展望】
○ 個々の状態に合わせたサービス計画内容の検証を重要視し、単一的な計画にならないよう心掛けた。
○ きめ細やかな支援実施を目標に、関係者との支援チームの構築に努めたい。
○ 研修等への参加により相談支援専門員としての資質を高める。

##### 【２】大北圏域障害者相談支援事業（スクラム・ネット）

障がい者や家族等からの相談に応じ、必要となる情報の提供や援助を行いました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 年度末登録者数 516人 ○ 延べ利用者数 1,166人（平均 97.1人／月）
管内町村へ出張相談	○ ひきこもり等相談会を実施 ◆ 松川村1回、白馬村2回（松川村は家族教室） ◆ 延べ相談件数：3人
ピアカウンセラー・ペアレントメンターによる相談支援	○ 障がいのある相談員や障がいのある子どもを育てている親が、対等な立場で話を聞き、その経験を生かした相談支援を実施 ◆ ペアレント・メンター相談会 1回開催



項 目	実施内容・結果
発達障がい者の当事者会の開催 (カラフルの会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達障がいの診断を受けている、おおむね高校卒業以上の方の当事者会を開催した</li> <li>○ 目的 ①参加者同士の悩みの共有・共感②社会生活上の情報交換③興味や関心が同じ仲間との出会い④リラックスして楽しめる集い</li> <li>◆開催日(参加者数) (感染症禍、6月開催は見合わせた。) ・9月13日(6人) ・12月13日(3人) ・3月14日(2人)</li> <li>◆会場 大町市総合福祉センター</li> </ul>
一般相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 精神病院、障害者支援施設等から地域へ戻る希望のある方に対し、地域の情報提供や各種体験を実施して安心して生活ができるよう支援</li> <li>○ 実績 定着支援1件/月</li> </ul>
当事者団体等支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自立支援協議会当事者部会の活動の中で、困りごとに対して助言を実施</li> <li>○ 団体からの要望により勉強会へ講師を派遣(オルカの輪)</li> </ul>
自立支援協議会の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体会と各専門部会を組織し、共通の目的に向けた情報の共有と関係者によるネットワークを構築</li> <li>○ 勉強会(WEB)を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催日 11月14日(土) ◆会場 松川村、大町市、白馬村</li> <li>◆テーマ 「コロナ禍の相談支援と地域と福祉」</li> <li>◆参加者 50名 WEB参加13ヶ所</li> </ul> </li> </ul>

### ● 実績数値の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
延べ利用者数(人)	4,770	5,143	1,269	1,311	1,166

#### 【評価と展望】

- 感染症禍、講座の中止や延期があり実績数値は低迷している。
- WEBの活用を進めて現在の状況でも相談・講座を開催できるように検討していきたい。
- 来年度スクラム・ネット全体として実質、職員数1名減となる。計画的な業務の運用に心掛けたい。

### 【3】発達障がいサポート・マネージャー事業

発達障がい者を直接支援している方々に、より専門的な支援を実施していただけるようアイデア提供や専門家への橋渡しを行いました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 243日(年末年始・祝日を除く月～金曜日)</li> <li>○ 年度末登録者数 95人(単年度登録者数)</li> <li>○ 延べ利用者数 628人(平均52.3人/月)</li> <li>○ 個別支援以外の会議等への出席など 延べ 181回(平均15回/月)</li> </ul>
個別のケースにかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本人やご家族、支援者に相談・連携・打ち合わせ・支援会議・医療紹介・同行受診・電話相談などを実施</li> </ul>

項 目	実施内容・結果
個別支援以外の活動	○ 研修会・連絡会議・講師・長野県発達障がい支援対策協議会 協力部会員（自立・就業部会、診療体制部会）・自立支援協議会（県、圏域）・自立支援協議会事務局・大北圏域発達障がい診療地域連携病院連絡会・大町病院での信州大学本田秀夫先生の事例検討会の開催協力・当事者の会（いっぽの会、カラフルの会）
学校巡回相談	○ 圏域外2校（圏域出身者対象）へ年間計画で2回ずつ巡回訪問し、環境調整や対応方法など情報交換や助言をした。進路について等は移行支援を検討し、就業支援ワーカーなどとの連携を実施した。（個別支援は別途対応） ○ 今年度は、感染拡大防止のため、年度初めの巡回相談の計画を行わず、各学校からの要望に沿って随時巡回相談させていただいた

### ● 実績数値の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
個別の相談 延べ利用者（人）	368	448	561	622	628
年度登録者数（人）	69	79	102	89	95
個別以外の支援 開催延べ数（回）	236	245	208	213	181

### 【評価と展望】

- 今年度は感染拡大防止というかつてない事態に直面したため、対面での面談や巡回相談、研修など今までの支援スタイルを変更。特に年度の前半は活動を控えざるを得なかった。
- サポート・マネージャー配置から7年目となり、業務内容について関係者から理解されるようになってきた。
- 学校から連携を求められるケースが増え、進路なども、外部と連携して相談を進めることが多くなってきている。困難ケースの解決のための連携（警察や児童相談所、病院等）も増加した。まいさぼ大町からの紹介ケースも増えてきている。
- 自ら発達障がいを疑い、支援を求める成人期以降のケースも増加。ひきこもりケース含め、青年期・成人期支援体制作りが必要となる。携わる職員の増加とともに、ケース・手法も多様化。相談は長期化するが本人の変化は乏しいことから、関係者の連携が求められる。大町保健所に協力し、関係者会議を持ち連携や情報交換を行っていききたい。
- 県からの委託事業を塩尻のジョイフルが受け、中信子ども若者サポートネットとして事業を展開。圏域の中では松川村を会場に「みんなの居場所 mini」開催し、この事業に協力している。利用者が固定化し、広がっていない状況があるため、利用に向けての発信をしていきたい。
- 当事者の会（カラフルの会）年間3回開催。人に合わせることに、気分を上げる時にすること、お節料理に欠かせないもの、令和2年はあなたにとってどんな年だったか、長期休暇の過ごし方、余暇の事などテーマを出し合い、意見を交わした。

#### 【4】 障害者地域活動支援センター事業（ハーモニー・ルーム）

講座を通して仲間づくりをし、在宅生活の意欲向上につながる講座作りに努めました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 242日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）</li> <li>○ 契約者数 37人</li> <li>○ 延べ利用者数 1,312人（平均109人／月 5.4人／日）</li> </ul>
多種講座型実施の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生きがいや潤いのある生活を支援（年間21講座）</li> <li>○ 感染対策を講じ新しい講座を勘案</li> <li>◆講座内容 絵画、ちぎり絵、アレンジメントフラワー、カーレット、ポッチャ、編み物、大人のぬり絵、機能訓練、陶芸、自由創作、はた織、紙粘土、押し花、革細工、トールペイント、イベント（クリスマス会）、伝筆、DVD鑑賞、木目込み、エコクラフト、マレットゴルフ</li> </ul>
健康づくりのための講座開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筋力低下の防止、ストレッチ効果を目的とした機能訓練講座（1回/月）</li> <li>○ カーレット、ポッチャ、マレットゴルフなど（1回/週程度）</li> </ul>
地域との結びつきを重視したサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大田市文化祭に出展（64作品）</li> <li>○ 県障がい者展に出品（9作品）</li> <li>○ 感染症を考慮。県障がい者展・大田市文化祭の見学は中止</li> </ul>

#### ● 実績数値の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
延べ利用者数（人）	1,294	1,478	※1,829	1,361	1,312

※13カ月実績

<p>【評価と展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4月から常勤職員2名の入職により、事業は通常体制に戻すことが出来た。</li> <li>○ 緊急事態宣言の発出、また新しい生活様式により開講が難しくなった講座もあった。</li> <li>○ 感染症禍、休校等に伴う家庭事情で休まざる得ない利用者も多くなり、思うように稼働を伸ばせなかった。</li> <li>○ 講座の企画は、利用者の高齢化に伴い心身の状態に合わせた運営が必要となる。またコロナ禍での魅力的な講座作りに努め、感染対策に配慮しつつ、健康の維持増進、介護予防を含めた生きがい作りを目的とした講座利用を推進したい。</li> <li>○ 社会が感染症を克服し、安心安全な運営が出来ること、また利用者が楽しみにされている外出講座等を再開できることに期待している。</li> </ul>
--

#### 【5】 障がい者等生活支援事業

##### ① 移動支援サービス

通院や余暇活動等、希望に応じた支援を実施しました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 365日</li> <li>○ 契約者数 4人</li> <li>○ 延べ利用時間数 168時間（平均14時間/月）</li> </ul>
外出時の支援	○ 通院やスポーツクラブ参加等への外出介助を実施
関係機関との連携	○ 行政他、サービス事業所との連携

● 実績数値の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
延べ利用時間数（時間）	94	182	※156	180	168

※13カ月実績

【評価と展望】

- 定期利用者は2名。主に余暇、買い物等の外出支援であった。他の2名は余暇や通院され外出支援回数が減であったため、訪問時間は減少した。
- 所要時間や支援頻度が定まらないサービスであるが、可能な限りニーズに応じた支援の提供に努めたい。
- 今後とも変則的なニーズに対応できるよう事業所体制強化を図りたい。

② 日中一時支援事業

障がい児や家族の日中活動を支援しました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	稼働なし ※稼働時は、ひまわりの家で対応

● 実績数値の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
延べ利用時間数（時間）	325	161	68	0	0

【評価と展望】

- 重症心身障がい者の養護学校卒業後進路として、作業所定着を目的とした定期的支援の稼働が見込まれる。

（５）障がい福祉サービス事業

個々のニーズに応じ、自立した生活、社会参加ができるよう保健・医療・地域の支え合い活動などと連携し、各種福祉サービスを提供しました。

【１】 障がい者居宅介護事業

コミュニケーションを図りながら、地域で自立した暮らしが出来るよう提供しました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	○ 開設日数 365日 ○ 平均契約者数 26人/月 ○ 延べ訪問時間数 4,017時間（平均334.75時間/月）
関係機関との連携	○ 利用者や家族、計画相談員、行政と連携し、支援方向を検討した
自立に向けた支援	○ 日々の関わりの中で残存能力の見極め、関わりを深めながらの支援に努めた

● 実績数値の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
延べ訪問時間数（時間）	6,470	5,810	※5,150	4,629	4,017

※13カ月実績

【評価と展望】

- 高齢化による介護保険への移行や、自立や長期入院等される利用者の増加により、訪問時間が減少したが、新規2名受け入れた。
- 計画相談員と密な連携調整を図りながら、新規受け入れを積極的に行い、提供時間内の要望には可能な限りの調整を行い対応していく。

## 【2】多機能型障害福祉サービス事業

生活介護・就労支援を提供し、心身の維持と発達の可能性を図れる実践に努めました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日＊休日販売会含む）</li> <li>○ 年度末登録者数 65人（生活介護19人、就労支援46人）</li> <li>○ 延べ利用者数 8,546人（平均712人／月、35人／日） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ひまわりの家 6,309人（平均525人／月、26人／日）</li> <li>◆ すずらん 1,473人（平均122人／月、 6人／日）</li> <li>◆ たんぽぽ 764人（平均 63人／月、3人／日）</li> </ul> </li> </ul>
就労からの発達保障と工賃向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染症禍、受注業者が減少。新規業者の開拓が、新たな作業の提供と工賃の維持につながった</li> <li>○ 次年度に備え自主農園作業を試行。農地契約を締結。今後、事業運営への定着を図る</li> </ul>
障がい啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主製品販売会の機会が損なわれる中、センターエントランスで展示・販売ブースを定期的開設。農産物、鉢花などの販売をとおした地域住民との交流を図った</li> <li>○ 施設外就労（農福連携）は、地域共生型社会の促進にも位置づける</li> </ul>
在宅生活継続支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個々の生活背景を踏まえつつ、高齢化や障がい特性に応じた、地域生活が送れるよう関係サービスと連携を図った</li> </ul>

### ● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
就労継続支援B型(人)	5,101	5,608	※6,450	5,401	5,384
生活介護(人)	3,795	3,773	※3,731	3,228	3,162
合計(人)	8,896	9,381	10,181	8,629	8,546

※13カ月実績

### ● 利用区分別年度末契約者数

（単位：人）

	生活介護（障害支援区分）						就労継続支援B型	合 計
	1	2	3	4	5	6		
ひまわりの家	1	0	4	4	2	1	31	43
たんぽぽ	0	0	0	1	2	3	—	6
すずらん	—	—	—	—	—	—	16	16
合計	1	0	4	5	4	4	47	65

【評価と展望】

(就労B型ひまわり、すずらん)

○受注作業を事業の柱に、発達保障・工賃向上・社会参加の取組を行ってきた。

今後、新規(自主農園)作業への取組をとoshi農福連携・地域との共生をさらに推進する。

(生活介護たんぽぽ・ひまわり)

○ライフステージと障がい特性に合わせた個別支援が更に求められてくる。個々の心身状態に合わせた日中活動の提供と、生活背景を踏まえた関係サービスと連携を図る。

## 4. 子育て支援活動の推進

安心して子どもを産み育てるためには、子どもの成長に応じた支援の提供と継続的な支援体制が必要です。現在市内にはどのような子育てに関する課題があり、どのような支援体制が望まれているのか、市内子育て支援団体との連携を深め、課題解決、支援体制の構築に努めました。

### (1) 子育て応援ネットワーク事業

子育て支援関係者との相互連携により、課題や資源の情報共有の場づくりに努めました。

項 目	実施内容・結果
子育て支援関係者ネットワークへの参加	<p>◆ 北アルプス地域子ども応援プラットホームへの参加 北アルプス地域振興局呼びかけにより平成29年度末にスタート。情報交換や地域の課題を把握し、「信州こどもカフェ」の居場所づくりの開設を目指し活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会や研修会への参加</li> <li>・地域で子どもを育てるプロジェクト～信州こどもカフェ運営支援助成～の受付(申請件数:2件)</li> </ul> <p>◆ 市内住民の主体的な子どもの居場所づくりを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの長期休みの期間で地域でのつながりづくりや交流の場づくりの支援</li> <li>・地域のボランティアを対象にしたZOOMによる居場所づくり研修会参加の呼びかけ</li> </ul> <p>◆ 「おコメの配布事業」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フードドライブを活用した生活困窮世帯の支援。</li> </ul>

【評価と展望】

○ コロナ禍での活動について、情報提供をしながら活動の呼びかけをした。

○ 多様な居場所が安全に運営できるよう市社協として支援をしていく。

○ 春休み期間に「おコメの配布事業」を周知することで関係機関と連携した子育て支援につながった。

### (2) 育児支援ヘルパー派遣事業(訪問介護事業所)

産前産後の心身不調等で支援を必要とする家庭に、サービス提供を行います。

項 目	実施結果・内容
事業実績	○ 開設日数257日(年末年始除く月～金曜日)
保健師との連携	○ 家庭状況や体調面に配慮した支援体制づくり

●実績数値の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
稼働（日数）	10	0	20	15	56
（件数）	1	0	3	2	6

【評価と展望】

- 感染症禍、実家が県外で帰省出産ができなかったり、県外からご家族の支援も受けられないため、出産後必要時の支援希望が予想以上にあり実施した。
- 保健師と必要なサービスの調整を図りながら妊産婦の希望に応じ、心身状況を考慮しつつ産前産後の不安が少しでも軽減できるように関わりを持っていく。

### （３）療育支援事業（スクラム・ネット）

障がい児及び障がい傾向のある児童に早期発見と療育支援を行うことで、穏やかな生活が送れるよう助言・指導・相談支援を行いました。

項 目	実施内容・結果
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）</li> <li>○ 対応人数 障がい児者 324人 家族 141人 （実人数）</li> <li>○ 支援方法別・障害種別相談延べ件数 1,339件（平均111件/月）</li> <li>○ 支援内容別延べ相談件数 1,410件（平均117件/月）</li> </ul>
障がい児等療育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 訪問療育等支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 指導班を構成する巡回等相談、健康診査等支援（367回実施）</li> <li>5歳児相談、PT・CP巡回、PT巡回、心理アセスメント 等</li> </ul> </li> <li>○ 在宅外来療育等支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 配置された場所における相談・指導（47回実施）</li> <li>来所相談、電話相談等</li> </ul> </li> <li>○ 施設支援一般指導事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 関係機関の職員に対する相談・指導（197回実施）</li> <li>保育園、学校、事業所等への巡回相談</li> </ul> </li> <li>○ 市町村発達障がい者支援体制強化事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 圏域自立支援協議会事務局、普及啓発研修会、市町村発達支援事業への協力（就学相談 等）</li> </ul> </li> </ul>
児童発達支援巡回相談業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大町市及び白馬村の巡回相談及び指導</li> </ul>

●実績数値の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
訪問療育等支援事業（件）	511	586	574	1,133	1,050
在宅外来療育等事業（件）	458	430	590	164	57
施設支援一般指導事業（人）	1,051	1,761	2,015	780	773
相 談 件 数 （件）	2,106	2,547	2,186	1,312	1,410

#### 【評価と展望】

- 母子保健事業と保育園との情報共有、連携について市町村保健師等の協力をいただき、継続的な支援が行えるようになっている。
- 3歳未満児からの保育園入所者数の増加に伴い、市町村母子保健事業フォローアップへの利用数が減少傾向にある。次年度はPT・CP巡回をすべての保育園で実施したい。
- 5市町村で継続的に行われている5歳児相談での成果を有意義に関係機関へつなげることができるよう仕組み作りを行っていききたい。
- アウトリーチでの相談体制（保育所等訪問支援、障がい児相談支援、障がい児等療育支援事業、市町村地域生活支援事業における相談支援等）については「対象・内容・利用方法・特徴」について地域での共通理解を図りたい。

## 5. 経済的支援活動の推進

不安定な収入などにより経済的に困っている人が生活意欲を取り戻せるよう、一時的な資金の貸付と生活相談や就労相談を行いました。

また、火災や自然災害等で被災した世帯への当面の生活確保に必要な支援体制を整え、経済的支援活動の推進に努めました。

### （1）生活困窮者等自立支援事業

経済的に困っている人からの相談に応じ、継続的な生活支援や就労支援等を行い、関係機関と連携しながら経済的自立・社会的自立の促進を図りました。

（長野県社会福祉協議会が大田市総合福祉センター内で実施）

項 目	実施内容・結果
自立相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 250日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ＊コロナの影響で、GW、年末に臨時開設を行った</li> <li>○ 新規相談者数 215人（うち、総合支援資金のみ112人）</li> <li>○ 自立支援プラン作成人数 79人</li> <li>○ 延べ支援回数 871件（平均72.5件/月）</li> <li>○ 支援調整会議を開催（毎月1回及び随時） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 参集対象 県・市福祉事務所、ハローワーク、その他関係機関</li> <li>◆ 内 容 自立支援プランの適否の協議、プラン終結評価等</li> </ul> </li> <li>○ あんしん創造ねっと（長野県内社協公益事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 公営住宅入居に伴う入居保証支援契約 11件</li> <li>◆ プチバイト 1件</li> </ul> </li> <li>○ 食糧支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ななせ仲まち園 6件</li> <li>◆ 大田市社協フードボラ 99件</li> </ul> </li> <li>○ 住居確保給付金申請受付 35件（うち、不支給、取下げ他12件）</li> <li>○ 緊急就労支援事業 2件（コロナ関連事業）</li> </ul>
大北地域連絡会との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大北地域連絡会に職員出席 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 生活就労センター大北地域連絡会（12月22日）</li> </ul> </li> </ul>

#### ● 実績数値の推移

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
新規相談者数（人）	95	64	80	81	215
自立支援プラン（人）	46	30	46	55	79



● 市町村別相談者数

(単位：人)

大田市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	合計
107	24	34	44	6	0	215

● 市町村別延べ支援件数

(単位：件)

大田市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	圏域外	合計
369	148	246	82	26	0	871

【評価と展望】

- コロナの影響を受け、特例での緊急小口資金、総合支援資金、延長、再貸付があり、総合支援資金の申請時にまいさぼへの相談受付が必須となった。そのため、新規受付数が増加している。
- 同様に、金銭的な支援のみならず、食糧支援を必要とする相談者も増えた。
- 多様で複合的な課題が多く、相談者の生活状況の把握が難しい。
- 県、市町村行政、地域包括、ハローワーク、スクラム・ネット、まいさぼ出張所等関係機関との一層の連携が必要である。
- コロナの影響を受け、相談体制強化のため職員が 1 人増員となったが、市社協業務との兼務であったため、継続相談支援について、対応できない状況があり、職員確保が課題となっている。
- 市社協で行ったお米配布事業（困窮者向け）で相談につながったケースがあり、コロナ禍で連携の形が形成されつつある。
- 住居確保給付金について、コロナの影響での減収も対象となったため申請が増加した。また、離職等による住居確保が難しくなるケースなど、住居に関する支援も増えている。

## (2) 家計改善支援事業

相談者とともに家計再生プランを作成し、定期的な面談と必要に応じた公的機関の利用支援等を行い、自らが家計を管理できるように、関係機関と連携しながら自立の促進を図りました。

項 目	実施内容・結果
家計相談支援事業	○ 開設日数 241日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）
	○ 相談者数 延べ263人
	○ 新規相談者 143人
	○ 実相談者数 141人
	○ 家計再生プラン作成数 2件

● 実績数値の推移（平成 30 年度より事業を実施）

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
相談者数（人）	—	—	29	42	263
家計支援プラン（人）	—	—	3	1	2

【評価と展望】

- 相談者は、30 代～50 代の方が多く。全体の 7 割であった。
- 継続的な面談や支援により、他のサービスや相談機関へつなげるにより、生活の安定に向け支援した。
- 個々のケースに応じ、自立相談機関等の関係機関と連携し、家計の見直しを図る。
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例貸付の対応により、相談件数が増えた。

### (3) 資金貸付事業（小口資金・生活福祉資金）

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等に対し、経済的自立と生活意欲の助長を図るため、各種資金の貸付と生活相談を実施しました。

項 目	実施内容・結果
関係機関と連携した自立支援の推進	○ 貸付相談の内容に応じ、まいさぼ大町、家計相談支援員、行政やハローワーク等関係機関と連携 ○ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例貸付への対応
定期的な訪問による償還指導	○ 小口資金の借受人宅訪問や電話等による償還指導を実施 ○ 県社協と連携し、生活福祉資金の長期滞納者を訪問し、償還指導を実施
償還依頼通知発送	○ 小口資金貸付金の償還依頼通知の発送（2回）
滞納整理、返済不能貸付金の欠損処分等	○ 生活福祉資金長期滞納者の生活状況等の調査の実施

#### ● 生活福祉資金貸付状況（令和2年度中）

資金種別		貸付申請		貸付決定		年度末貸付金残高		完済 件数
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
小口資金（大町市社協）		8	651,000	8	651,000	9	504,191	11
生活福祉資金 （県社協）	総合支援資金	120	60,140,000	120	60,140,000	122	61,554,730	
	緊急小口資金	117	20,060,000	117	20,060,000	127	20,512,330	1
	教育支援資金	1	166,000	1	166,000	9	3,334,097	1
	福祉資金					8	10,869,568	1
	合 計	238	80,366,000	238	80,366,000	266	96,270,725	3

※年度末貸付金残高には利子・延滞利子を含む

※完済件数には欠損処分及び延滞利子減免件数を含む ※離職者支援資金は総合支援資金に含む

#### ● 新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例貸付の貸付状況(市社協受付分)

資金種別	R1		R2		合計	
	件数	貸付金額	件数	貸付金額	件数	貸付金額
緊急小口資金	5	700,000	111	19,360,000	116	20,060,000
総合支援資金			89	46,230,000	89	46,230,000
総合支援資金(延長)			25	11,850,000	25	11,850,000
総合支援資金(再貸付)			6	2,460,000	6	2,460,000
合 計	5	700,000	231	79,900,000	236	80,600,000

#### ● 貸付決定件数の推移

(単位：件)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
小口資金	9	4	1	8	8
生活福祉資金	1	0	0	5	238

#### ● 年度末貸付金残高（元金）の推移

(単位：円)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
小口資金	1,023,400	550,900	397,000	551,000	470,000
生活福祉資金	14,297,782	13,119,156	11,751,658	10,608,807	89,144,074

【評価と展望】

- 生活福祉資金では、昨年度末より、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により特例貸付が始まり、相談により、県社協に申請し貸付を行った。また、教育支援資金では、入学のための教育経費について貸付を行った。
- 小口資金では、生活費として貸付を行った。
- 長期滞納者への償還指導においては、連絡が取れず、滞納が長期化するケースが多い。滞納が長期化する前の償還指導を強化していく。
- 特例貸付では、早い方で償還が始まるので、県社協と連携して償還指導を行う。
- 県社協やまいさば大町、家計改善支援事業等関係機関との連携を強化し、相談支援体制を整えていく。

#### (4) 災害見舞金等支給事業

被災した市民または遺族に対し、行政等と連携し援護物資や各種見舞金を支給しました。

項 目	実施結果・内容
被災者からの要請による援護物資（寝具一式）の支給	○ 被災者からの要請による寝具一式支給（1件・2組）
被災した会員への災害見舞金の支給	○ 被災状況に応じた災害見舞金の支給 ◆住宅火災 全焼 1件（10,000円）
被災世帯への県共同募金会災害援護金の支給	○ 被災状況に応じた災害援護金の支給 ◆住宅火災 全焼 見舞金 1件（10,000円）
交通・災害事故の遺児等の把握と県社協への見舞金申請・支給手続き	○ 交通・災害事故の遺児見舞金の支給 ◆実績なし

● 災害見舞金等支給実績の推移（大町市社協予算で支給したもののみ計上）

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
寝具支給数（組）	0	2	3	5	1
見舞金支給数（世帯）	0	3	3	1	1
見舞金支給額（円）	0	23,000	60,000	20,000	20,000

【評価と展望】

- 行政と調整をしながら、迅速かつ適切に対応できるように努めた。

## Ⅳ 受け継がれるまちづくり

地域福祉活動を継続的に展開するため、住民の福祉意識の高揚と担い手の育成に努めました。

### 1. 地域における福祉意識の啓発

広報紙等による福祉情報の発信や社会福祉功労者の表彰、市民からの福祉啓発標語の募集を通して、地域福祉の意識啓発に努めました。

#### (1) 福祉情報発信事業

広報紙やホームページを活用し、地域福祉に関する情報発信に努めました。

項 目	実施内容・結果
広報紙「社協おおまち」の発行	○ 地域の住民活動に焦点をあてた記事を中心に掲載 ◆ 年6回（偶数月1日）発行（全戸配布9,000部 詳細別記）
ホームページの充実と活用	○ 各広報紙のほか、各種講座の募集やお知らせなど、タイムリーな記事を掲載

#### ●広報紙「社協おおまち」の発行内容

号数	発行日	主な内容
205号	4月1日	新行福寿草園（表紙）/コロナ対策（レクリエーションと食事）総合福祉センターの居場所づくり/法人会員お礼/一般会費のお願い/成年後見無料相談会
206号	6月1日	農具川環境美化委員会（表紙）/令和2年事業計画・予算/安心コール/ふだんのくらしのしあわせ絵手紙/緊急貸付/おしゃれマスク
207号	8月1日	複合型体操教室（十日町）（表紙）/小地域福祉ネットワーク交流会/フードバンク/令和元年度決算・事業報告/サマーチャレンジボランティア/大ボッチャ大会/夏からの寺子屋
208号	10月1日	ことことコットンウォーキング（表紙）/大町市の福祉タクシー、介護タクシーのご紹介/企業の社会貢献/新しい生活様式に対応したネットワーク活動/信州健康チャレンジ2020/赤い羽根共同募金
209号	12月1日	平和を願う千羽鶴（表紙）/地域活動の工夫/オンライン勉強会（大北圏域）/知って得する社協の講座/大町市社会福祉大会/特別会費のお礼/正規職員募集
210号	2月1日	鹿島荘まゆだま（表紙）/新春座談会コロナ禍を支え合う/大北ボランティアフォーラム/シトラスリボンプロジェクト/共募大口募金者名簿/おこめ配布します/北アルプスの山々の名前を学びましょう

#### 【評価と展望】

- 広報紙は、コロナ禍でもできる地域活動の紹介を中心に、地域福祉活動の啓発はもとより、地域が元気になるような内容の記事を掲載をしていきたい。
- 新春座談会では、施設関係者とコロナ禍で求められるボランティア活動をテーマにご意見をいただいた。新しい生活様式に合わせたボランティアの在り方について検討を進めたい。

## (2) 地域福祉意識啓発事業

社会福祉功労者の表彰や福祉啓発標語の募集を通して、地域住民の福祉意識の啓発に努めた。

項 目	実施結果・内容
大町市社会福祉大会の開催 社会福祉功労者表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会福祉大会はコロナ感染症対策のため中止。 (予定日 令和3年2月6日)</li> <li>○ 社会福祉表彰式の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉功労者表彰</li> <li>・福祉啓発標語最優秀者表彰</li> </ul> </li> <li>・日 時 令和3年2月27日 10:00~11:00</li> <li>・場 所 大町市総合福祉センター30人</li> </ul>
福祉啓発標語の募集と入選作品の表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内各校及びボランティアニュースで啓発標語の募集を行い、選考委員会で入選作品を選考 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 募集時期 10~12月</li> <li>◆ 募集部門 小学校低学年、小学校高学年、中学校、高等学校、一般</li> <li>◆ 応募総数 243点</li> <li>◆ 選考結果 入選作品43点(最優秀5、優秀13、佳作25)</li> </ul> </li> <li>○ 入選作品をイベントや市総合福祉センター内で展示、ボランティアニュースや各種会議資料に掲載</li> </ul>

### ● 表彰・感謝状数(個人5人・団体6団体)

区 分	表彰基準	表彰者数
表彰・感謝状	保護司	1人
	社会福祉事業団体役員	4人
	地域活動に協力し他の模範となる団体	6団体
	多額寄付者	3団体

### ● 福祉啓発標語応募点数の推移

(単位:点)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
小学校低学年	116	49	45	151	117
小学校高学年	145	219	76	147	75
中 学 校	323	157	302	21	21
高 等 学 校	23	21	15	27	25
一 般	4	7	6	4	5
合 計	611	453	444	350	243

#### 【評価と展望】

- 福祉啓発標語では、小学校から一般まで、幅広い年代の方に取り組んでもらうことで、福祉への関心や関わりをもつきっかけとなった。
- 大町市社会福祉大会は、コロナ禍での避難所運営をテーマに、広い会場を使用するなど感染予防に努め実施することを検討したが、感染拡大時期と重なり開催出来なかった。

## 2. 地域の担い手育成

地域住民や子どもたちへの福祉教育の推進と、地域の助け合い活動につなげるための担い手育成に努めました。

### (1) 福祉教育推進事業

地域や小中高等学校での出前福祉体験講座と相談支援活動を行いました。

項 目	実施結果・内容
福祉教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業紹介のため、社協事業を掲載した冊子を市内小中高校に配布。</li> <li>○ 高齢者疑似体験、車いす体験、手話学習、点字学習、アイマスク体験等の出前講座を実施。</li> <li>福祉体験備品と当事者の体験談ビデオの貸し出し <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2小学校（延べ7回）、1高校（延べ1回）</li> </ul> </li> </ul>

#### 【評価と展望】

- コロナ禍により、地域や学校に出向くことが難しく、出前講座の回数は減少した。
- 体験談を収録したビデオや福祉体験グッズを貸し出すことで、コロナ禍での福祉教育の推進に努めた。

### (2) 生活支援体制整備推進事業（生活支援コーディネーター）

地域支え合い体制づくり協議会（第1層）との連携や、中部エリア（第2層）・八坂エリア（第2層）の運営をする中で、関係団体と連携しながら地域の連絡会を実施しました。

項 目	実施結果・内容
地域資源の見える化リストの更新	○ 総合福祉センター内の通いの場になりうるサークル等、福祉タクシー等の移動支援のリストを作成し、広報誌で紹介した。
より身近な地域での支援体制づくり構築と連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 包括支援センターやケアマネと同行訪問しニーズを把握し個別に対応</li> <li>○ もちもちサービスや地域資源を活用した支援の提案</li> </ul>
社会参加と介護予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報等と通じてコロナ禍でも参加できるボランティア活動の紹介や提案をし、多くの高齢者が参加した。</li> <li>○ コープながの主催信州健康チャレンジ2020への参加呼びかけ（ZOOM研修含）</li> <li>○ 住民の集いや民間企業が関わる地域の社会資源を把握し、社協報を通じて地域に発信した</li> </ul>
サービス・支援の担い手となるボランティア等の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小地域福祉ネットワーク研修会（認知症研修会） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域でサロン活動や支え合い活動を展開しているネットワークや集いで情報提供や活動と呼び掛けた</li> </ul> </li> <li>○ 企業の社会貢献活動とのコーディネートをした</li> <li>○ 雪かき支援員の発掘と調整</li> </ul>

項 目	実施結果・内容
中部エリア2層協議会の活動支援	<p>○ 綿花を育てながら地域の支え合い活動や見守り活動の啓発を行った</p> <p>◆活動内容</p> <p>4月16日 近藤紡績所（市内企業）と連携し綿花の種まき講座</p> <p>6月16日～ コットンサロンの実施（火曜日13時～15時） 見守りコットンチャームづくり</p> <p>8月18日 コットンの会（協議会）にて活動計画を立てる 見守りネットワーク（案）について</p> <p>9月～10月 ことことコットンウォーキング（計5回実施）</p> <p>10月26日 近藤紡績所大町工場見学</p> <p>10月～2月 ミニ講座（編み物・折り紙・リース等）</p> <p>11月～3月 コットンサロン（綿の種取り・整理）</p>
八坂エリア2層協議会の活動支援	<p>○ 大町市地域支え合い体制づくり協議会との連携</p> <p>◆地域包括支援センター主催の協議会に参加し、地域の課題、活動内容の報告及び情報共有</p> <p>○ 地域ニーズの把握と地域資源の見える化</p> <p>◆コーディネーター連絡会議において活動内容の報告及び研究(年12回)</p> <p>◆高齢者予防介護各種活動への参加協力（軽体操教室・高齢者サロン他） ・福祉活動事業 58回/年 延べ参加者数 751人/年</p> <p>◆八坂地区支え合いマップづくりへの協力</p> <p>○ 学区での住民主体の支援体制づくり</p> <p>◆高齢者予防介護事業調整会議 ・第1回 4/16 ・第2回 4/28 ・第3回 5/7</p> <p>◆八坂地域支え合い体制づくり協議会設置及び運営協力 ・支え合い雇用議会設立 7/22 ・連携会議 7/28</p>

#### 【評価と展望】

（第一層・第二層中部エリア）

- 綿花を育てる中で、楽しみながらウォーキングやサロン等の活動に参加する中で、新たなつながりや見守りの仕組みが生まれている。
- 参加者のアイデアや希望が叶う場づくりを目指し、より多くの方に参加いただける活動を展開していく。

（第二層八坂エリア）

- 行政など高齢者福祉サービス提供団体と連携し高齢者支援体制の充実に努めた
- 地域の方から情報を聞き高齢者が社会参加しやすい場所の確保等、関係団体と連携し進めていく。
- 「誰もが自分らしく安心して暮らし続けることができる」高齢者を支える体制づくりについて地域住民とともに考え進めていく。

### 3. 地域福祉活動団体の育成

市内で活動中の福祉団体に対する相談支援や助成金の交付を通して、各団体の育成を図りました。

#### (1) 企業ボランティア育成事業

項 目	実施内容・結果
企業が行う地域貢献活動との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ禍、企業に多様な活動メニューの提案し、希望される活動に参加いただいた。</li> <li>○ 草刈りのニーズに対し企業の社会貢献活動の支援をいただき、生活困窮者の支援につながった</li> </ul>

#### 【評価と展望】

○今後も、地域課題を具体的に企業等へ発信するよう努める。

#### (2) 地域福祉活動団体育成事業

項 目	実施内容・結果
地区社協への助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地区社協が行う活動に対し、社協会費・共同募金配分金を財源に助成金を交付（4月申請受け付け、5月交付決定、6月交付終了）</li> <li>◆ 6地区社協 1,828,868円</li> </ul>
ボランティア活動への助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ボランティア団体が行う活動に対し、5万円を限度に助成金を交付</li> <li>◆ 14団体 397,692円</li> </ul>
ボランティア活動保険掛金助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ボランティア活動保険掛金の一部（Aプラン170円/人）を助成</li> <li>◆ 基本プラン 303,280円</li> </ul>

#### ●地区社協助成金交付実績

(単位：円)

地区名	地域交流事業	啓発活動事業	ネットワーク支援事業	合計
大町	54,168	72,600	483,900	610,668
平	100,000	100,000	167,500	367,500
常盤	135,000	0	180,000	315,000
社	63,000	0	169,700	232,700
八坂	75,000	0	45,000	120,000
美麻	143,000	0	40,000	183,000
合計	570,168	172,600	1,086,100	1,828,868



● ボランティア活動団体助成金交付実績（社協会費財源）（単位：円）

団体名	事業内容	助成額
安曇養護学校大町地区PTA	地域貢献活動（手縫い雑巾寄贈等）	24,000
みあさの森	地域貢献活動（子育て支援）	50,000
大町市朗読グループかっこう	福祉教育啓発活動（広報誌音訳等）	10,000
大町点訳ほたるの会	福祉教育啓発活動（広報紙の点訳）	20,000
シニア大学常盤地区同窓会睦会	地域貢献活動（駅前草刈活動等）	7,692
要約筆記サークルおきあがりこぼし	学習研修活動（学習会）	4,000
賛助会大町グループ	地域貢献活動（福祉施設ボラ活動等）	20,000
アルプスリンゴーズ	地域貢献活動（福祉施設交流等）	20,000
ファミリーサポートバンビ	学習研修活動（子育て交流事業等）	35,000
ゆずり葉の会	地域貢献活動（高齢者交流会）	50,000
信州・大町山の子村 キャンプ実行委員会	地域貢献活動（環境問題）	50,000
スリーアールの会	地域貢献活動（不用食器の回収学習会）	30,000
あざみの会	地域貢献活動（しあわせの絵手紙交流）	27,000
おはなしの会「やしろ」	学習研修活動（学習会）	50,000
合 計（14団体）		397,692

【評価と展望】

- 地区社協も小地域福祉ネットワークもコロナ禍で活動が難しい一年だった。
- 事業の内容や方法について相談しながら、活動助成できるよう支援していく。
- ボランティア活動団体への助成金交付により、地域貢献活動や学習研修活動等のボランティア活動の支援につなげるとともに、今年度新たに絵手紙で交流事業などコロナ禍での、ボランティア活動団体への助成につながった。

企業のボランティア活動



トマト収穫ボランティア（第一生命）



草刈りボランティア（第一建設）